

「京都地域外国人コミュニティ基礎調査」報告書

ホンを
聞かせて！

あなたと仲間の

キョウトぐらし



2013年2月

公益財団法人京都市国際交流協会

はじめに

「京都地域外国人コミュニティ 基礎調査」について

本調査は、京都地域で暮らす、外国にルーツがある人たちのコミュニティの実態調査です。調査は、2011年度～2012年度にかけて、(財)自治体国際化協会「地域国際化施策支援特別対策事業」の助成金を受け、京都地域で活動する「きょうと外国人支援ネットワーク」の協力を得て協働で実施しました。11のコミュニティのリーダーもしくはメンバーにインタビューを行い、その調査報告書としてまとめたのが本書です。

京都市には、約41,000人の外国人が生活しています。そんななか、外国人どうしが互いを支え合うネットワークが形成されるようになり、信仰、子育て、高齢化、教育問題など、地域に暮らす外国人のニーズに応じて生まれたネットワークが「外国人コミュニティ」と呼ばれるようになりました。

しかし、「外国人コミュニティ」の言語的・文化的背景には、「外国人」という一語ではくくることができない多様性があります。日本で数年間をわたって学ぶ留学生、日本人の家族の一員として暮らす人、ルーツは外国にあるものの長年日本で生活してきた人、日本人ではあるが戦後長く日本に帰ることができなかった人たち等々もいます。「外国人コミュニティ」とは、そのように国籍を超えて多様な言語的・文化的背景をそなえた人たちのネットワークです。

本誌に掲載したそれぞれのインタビューからは、自身のライフヒストリーやコミュニティの活動の様子なども含めて、京都で暮らす外国人、あるいは外国にルーツのある人たちの視点で語られた日本や京都が見えてきます。あなたの近くにも外国人コミュニティがあることを知り、驚かれるかもしれません。

言葉や文化が違っても、私たちは互いを知り、理解しようと努力することはできるはずです。未来の京都をともに生きる私たちが、互いの声にもっと耳をかたむけ、いっしょにできるなにかを探さずかけになれば、それぞれの人生を有益に、そして豊かにすることができるのではないでしょうか。そのような想いでコミュニティの声を集めて完成したのがこの報告書です。

調査概要

期間	2011年4月～2012年3月
対象	京都市在住のニューカマー（90年代以降に来日した外国籍市民）を中心に、現在、拠点が京都市内にあるコミュニティや「きょうと外国人支援ネットワーク」に参加する計11コミュニティ
目的	●多文化共生に向けての取り組みのための基礎調査 ●京都の在住外国人コミュニティの活動やニーズの把握 ●外国人コミュニティとのネットワーク構築
方法	コミュニティのリーダーもしくはメンバーへのインタビュー
協力	きょうと外国人支援ネットワーク（40ページ参照）



あのね、私ね、ほんとうはね……

※本書は、財団法人自治体国際化協会「平成24年度地域国際化
推進支援特別助成事業」の助成を受けて実施しました。

もくじ

はじめに

「京都地域外国人コミュニティ基礎調査」について 1

インタビューの記録 3

- 01 京都宣教会 4
- 02 京都PAG-ASAフィリピン人コミュニティ 7
- 03 京都インマヌエル宣教会 10
- 04 夕陽紅の会 13
- 05 外国人女性の会 / ハルヨン 17
- 06 インドネシア人女性コミュニティ An-nisa shalihah 20
- 07 在京都ベトナム留学生青年会 23
Hội Thanh niên sinh viên Việt Nam tại Kyoto
- 08 ロシアのクラブ 25
- 09 関西フランス学院 APEK 28
- 10 京都インド人協会 Kyoto Indian Association 31
- 11 NPO法人 京都コリアン生活センター エルファ 34

インタビューを終えて 37

- お隣さんは外国人——京都の多文化社会の光景に迫る 毛受 敏浩 38
- きょうと外国人支援ネットワーク 車座トーク 40
- 世界から京都へのひとことメッセージ @ kokoka 42
- 世界からやって来た あなたの身近なお隣さん！ 44

「つながり」の時代、再び ——あとかきにかえて 岡本昌也 47

京都地域外国人コミュニティ 基礎調査 インタビューの記録



インタビューの様子



調査結果をもとに、支援ネットワークのみなさんと勉強会

インタビュー参加者

きょうと外国人支援ネットワーク

飯田余美子 (多言語コミュニティ通訳ネットワーク)
Iri Lestari (An-nisa shalikhah)
岡 祐子 (京都YWCA APT)
野崎きよみ (Office Com Junior)
谷口沙織 (立命館大学)
佐 之成 (京都大学)
岡 海賢 (NPO法人京都コリアン生活センター・エルファ)
牧田孝文 (南山大学)

京都市国際交流協会

岡本田也
高木 聡
チョン・チサンダン
野山由美
波留伸子
清口智子

京都通信社

協力

宮内英治 (京都小・中・高・大学教員)

ぼくの名前は
kokokaだよ。
京都市国際交流協会の
マスコットなんだ。
これから
よろしくね



「京都地域外国人コミュニティ基礎調査」報告書
ホンを聞かせて！
あなたと仲間のキョウトぐらし

編集・発行
公益財団法人京都市国際交流協会

2013年2月23日 発行

制作協力 京都通信社

「つながり」の時代、再び —あとがきにかえて—

公益財団法人 京都市国際交流協会 市瀬 剛

岡本 昌也

「コミュニティ」ばかりである。

特に人種差別、地域の再生、心の

復興など様々な文脈で人と人の絆の

大切さが語られ、これでもかとメディアにあ

ふれていたことは記憶に（むしろ記憶か？）新しい。世間

にこういった言葉が頻発するのは、人が危機に直面し、動

いていることの脆弱さと向き合わざるを得ないときに集

団的な防衛機制が働くからだろう。近代以降、特に第

二次世界大戦後の日本では、この人と人との「つながり」、特

に地域におけるそれを「商品化」の波とともにむざむざ

いものとして切り捨ててきた経緯がある。

世りの方が私欲である。個人としての楽しみを追求し

たいと願望する人が増えた。何より個人がばらばらに消費

行動をはじめると、いっそモノを売る側が「儲かる」ので、

そう仕向けてきたのが我々の住む高層資本主義社会だ。

「個人（独立）生活」を奨励する商品が次々、ライフス

タイル、新雑誌が大きく展開する中、「つながり」「絆」とい

った言葉は急速にリアリティを失っていった。マンガ・映画の

「三日月の夕日」の世界から、現実からノスタルジーに裏切

っていく過程だったのかも知れない。

しかしながら、この20年近く、阪神・淡路大震災、そ

して今（の）東日本大震災及び原発事故といった危機、不安あ

るいはそれらに導かれる社会不安は、はからずも人と人との

つながりに再び一定のリアリティを与えたのではないかと

思う。特に被災者、また放射能汚染地域からの避難者にと

っては、人とのつながりの再構築こそが最優先の課題であ

れ、切実な課題に迫っている。それらを見聞した——いや、

共有すべき周辺住民たる我々は「コミュニティ」の何たる

かに思いを巡らし、意識しなかった。あるいは願ひなかつ

た人と人とのつながりの回復に向けて手探りで歩み出し

つつある筈だ。

国際交流協会の本誌を手にとっていただいた方に、新しい発

見や気づきがあれば切に願う。外国人、あるいは母語が

日本語ではない人々は、社会的マイノリティといえる。彼

ら、彼女らは「異文化」であるこの日本で、言語、習慣を

はじめとする社会的圧力を常に感じながらどうにか折り合

いをつけて過ごしている。この事実の一端に接していただ

くとともに、皆さんと同じ「生活者」としての彼ら、彼女

らに少しでも共感していただければ幸いです。

外国人がそのおのの出身国、文化、宗教などを共通項と

する仲間と相互扶助の関係を構築しようとするのは、マイ

ノリティ意識の心となきを物心両面で支えあうため

言える。ひるがえってこの日本

社会は、たんに彼らを保護される

べき弱者、異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

るべきである。異質な他者と捉えるのでは

なく、ともにこの社会を支える仲間と捉え

インタビュー
01

京都宣教教会

韓国人牧師と日本人の奥さんが、キリスト教を信仰する人たちとともに2004年1月に設立。中国人留学生がおもなメンバー。ふだんの活動は、礼拝、伝道、文化活動（民族舞踊や演劇など）、ボランティア活動、留学生支援（進学・生活相談、バザーの開催など）、日本語、英語、韓国語教室を運営。

メンバー……約150人

創設……約90%が学生、男性30%／女性70%、90%が20代

代表

金 蘭松（キム・ラン）さん
中国吉林省出身で母語は朝鮮語、教会施設勤務

東山区の近くの東山（福徳）にあるキリスト教の京都宣教教会には、中国人を主とした留学生たちが集まります。日曜日ともなると、礼拝が盛況なところもあり、教会に集まり、みんなで食事を摂り、交流し、社会活動に従事する日々を送ります。

自らも日本に留学経験のある牧師ならではの教会活動かもしれません。立命館大学に在学し、現在は介護福祉施設で働く金蘭松さんの職場に向い、教会のことや、日本での生活について話を聞きました。



金蘭松さん

金さんは朝鮮語と中国語。それに日本語が話せるんですね。

金●ええ。私は朝鮮語で母語は朝鮮語です。中国の学校を卒業するまでは、ほとんど朝鮮語ばかりで、中国語はあまりよくしゃべれませんでした。日本に来て韓国の中国人と接するうちに中国語も伸びましたが、いまも中国語では伝えたいことが伝わらないときが多いんです。中国人の友達からは、「あんた、日本語でしゃべりな。って」言われます。

誘われて、最初は
延い気持ちで教会へ

金●宣教教会には、どのような経緯でかかわることになったのですか。

金●初めに「中国人が集まるから」と誘われ、日曜日にいっしょに教会に行ったのがきっかけです。最初から礼拝していたわけではありません。忙しいし、アルバイトがあるのにとっても……

そのころは一人暮らしだったので、留学生で家にいる時間が少ないので、家賃がもったいない。そこで教会に通っていた同じ朝鮮語の牧師さんといっしょに暮らすようになりました。彼女が日曜日になると教会に行き、それについて、お祈りするようにもなりました。だいたいは11時から帰ってから、私

も、これは本物だ」って思っただけ。（笑）

もともと信仰心があってキリスト教会を辞して来た人は、一人か二人。遊び心で来た人ばかりで、なにか助けてもらいたい、そんな思いから来る人が大半ですね。

中国人留学生がメインの教会だと聞いています。金さんと同じ朝鮮語のメンバーが多いのですか。

金●多くは韓国の留学生です。朝鮮族は20から30代のあいだ、少ないです。京都に求めている朝鮮族そのものが少ないので。

教会で一日をすごす日曜日

金●日曜日の午前礼拝には130人くらい集まります。3分の1の人が午後に残って教会や教会施設の掃除をしたり、いっしょにご飯を食べたりしています。夜の10時くらいまでいる人もいます。

日曜日は、一日中ほとんど教会にいるんですね。

金●そうですね。教会に来ている人たちは、一つの家族だという感じで、日曜日の一日をすごします。

この前の日曜日の午後は、韓国語の勉強会がありながら四時過ぎまで行って、韓国でダンスを習い、音楽会をやって帰って来ました。

グローバルなメンバーの
心のささえ

教会に来る人の中には留学生で、牧師先生も元留学生。先生ご夫婦は、信仰心だけでなく生活のすべてを信じて生きてくださる。日本人である金さんが、ご近所といういる折衝してくださっていると思います。

金●はい。教会には中国、韓国、日本、韓国、タイ、インドネシア、それにいまはジャマイカからも来ていて、「ここはほんとうにグローバルなところだ」と言われます。

先生ご夫婦は、私たちのために一所懸命です。生活においても、いろいろなことを心配してくれています。

私は日本に来て5年半くらいになりますが、中国に1回も帰っていないです。じつは、私はそういう部分で悩んでいます。「家に帰りたい」「お母さ

んとお父さんのところへ帰りたい。だから、夏休みや冬休みになって周りのみんなが帰っているのを見たら、すごくつらいんです。そんなときにはいちばん頼りになったのが教会でした。自分の家みたいだから、そこにいるときは、そんなつらい思いを忘れるんです。

『先生のお教養は、中国語ですか。』
余●日本語です。日本に来たばかりの人は日本語ができないから、中国語の通訳が必要で。英語と韓国語の通訳もいます。みんな学生たちからします。

先生は、ほんとうは中国に行きたくて来たかった。ですが、いまの状況では、韓国人が中国に行きたくて来るのとは違って。それで日本に来て、中国人に向けて宣教しているのです。じつは、私も将来、中国での伝道を目指しています。

やはり中国を思っているんですね。日本の社会に対する思いを聞かせてください。

京都で感じた外国人への壁

余●神戸でアルバイトをしていたころは、周りの方にいろいろ助けてもらいました。とてもやさしかったので、「日本人はやっぱりやさしい」と思いました。

そのあと京都に来て、はじめて同じ

ぶつからって……。アルバイトを探したのですが、みんな所られて、「外国人に対する、こういう反感があるのだな」と、ものすごく感じました。

『差別は違うと思ったのですか。』
余●ええ、日本が上手でもダメ。日本人とかかわるなかで、「やっぱり外国人に対しては、神戸と違うところだ」、「ちょっと距離があるな」と感じることがたくさんありました。

経験があるからアドバイスできる

余●京都での最後のアルバイトが特許でした。年配の方が多く、厳しかったのですが、そこで完全に日本人の働き方、仕事に対する態度などを覚えることができました。それに、怒られたがらも前向きにがんばっていたら、「年くらい進んで、私に対する態度が変わってきたんです。私を信頼してくれている」という感じでした。

そんな悔みを経験してきているので、いまでは新しく京都に来た人たちから教会で相談を受けても、「そういう経験は、私もしてきたのよ」と答える。じつは教会の先生も、留学生として日本においで、私たちがしていた川洗いやなどのアルバイトもすべてやってこ

れた。だから、私たちの気持ちもすごくわかるんです。

中国人として認められたい思い

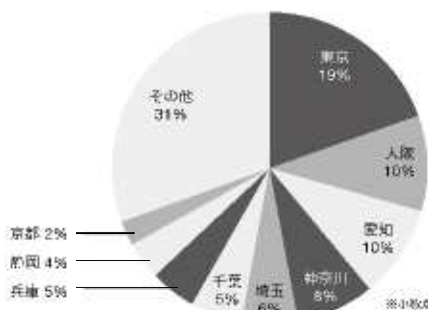
余●レストランでアルバイトしていたことがありました。中国人留学生ではじめて採用されたのが、私と私の友だち。3年間くらい働きましたが、そのチームが最後の最後になって辞めたのが「あなたたち2人を見て、迎うんだと思った。それまでの中国人に対するイメージが悪かった。私は日本人にそういう思い込みをさせないために、必死だったんです。足りない部分もあったかもしれないですが、

朝鮮族は韓国の影響を受けるから、生活習慣も、服装も、流行りも、考えも、微妙に韓国の中国人とは違うところがあります。だけど朝鮮族には、「私は中国人だ」という意識もあります。韓国人が「あなたも韓国は韓国人だ」と言っていたら、「私は中国人だ」と。《笑》そういう教育を受けたからかもしれないです。余さんはいま、在日韓国・朝鮮人の高層者をおもな対象とした施設「エルファ」で働かれています。施設は日本でしようと思っていたのですか。

余●大学を卒業して、それだけで得る

日本の外国人登録者数 2,078,508人

(出典：法務省 登録外国人統計2011年次)

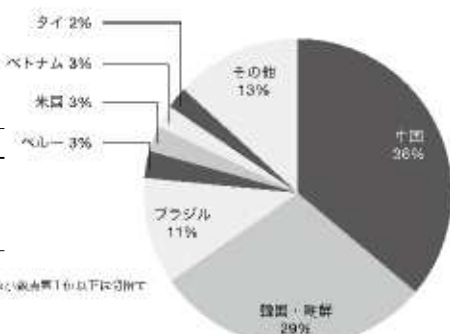


都道府県別外国人登録者数

都道府県	人数
東京	405,692人
大阪	208,324人
愛知	200,696人
京都	52,563人

国籍別外国人登録者数

国籍	人数
中国	674,879人
韓国・朝鮮	545,401人
ブラジル	210,032人



在留資格別外国人登録者数

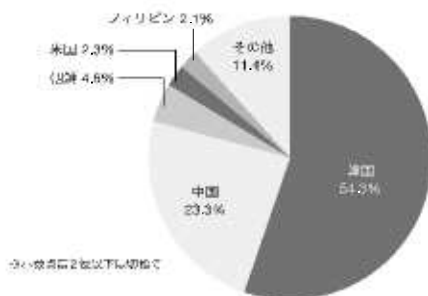
在留資格	人数
永住者	596,140人
特別永住者	389,085人
留学	188,606人



宗教活動の「異文化体験」で、海外参访者を紹介

京都市の 住民基本台帳登録者数国籍別構成比率

国籍(出身地)	人数
韓国	22,121人
中国	9,486人
朝鮮	1,882人
米国	965人
フィリピン	681人
その他	4,676人

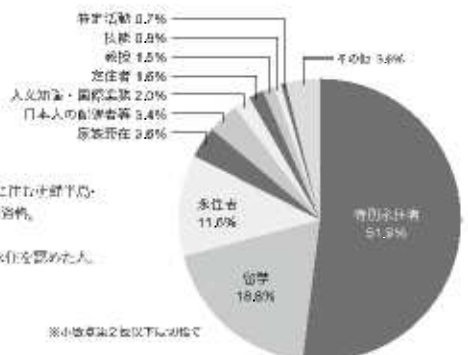


※小の数字は2位以下に切捨て

京都市の 在留資格別住民基本台帳登録者数

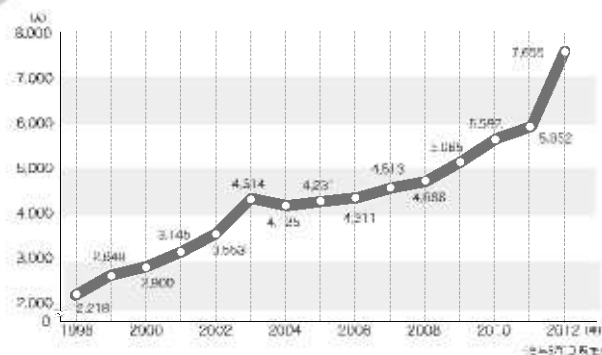
「在留資格」とは、入国法で定められている27種類の法律上の資格のことです。外国人が日本に入国、活動するためには必要なものです。

在留資格	人数
特別永住者*	21,116人
留学	7,655人
永住者**	4,739人



※小の数字は2位以下に切捨て

京都市の 留学生数の推移



(単位:千人未満)



訪英大使館の「文化大使」で、チゴリのファッションショーをやる

のはすごくもったいないと思ったんです。学校に行ってる学生たちのを、日本で話さないと、このまま中国に帰ると、またゼロから始めないといけない、それでは前味がないと思ったんです。

一から飛び込んだ 介護の世界

金●大学ではメディアに興味があって知願したのですが、「興味だけではだめだな」と思いました。(笑)興味は興味でいいのですが、勉強しているうちに、「結構はメディアじゃないか」と思ったんです。

すごく悩んでいるときに、この近くの特別養護老人ホーム「故郷の家」京都市でアルバイトをしたことがすごくよかった。科卒のアルバイトも年配の人というしよでもよかったように、やっぱり年配の人が好きなんです。その「故郷の家」でエルファの利用者に出会いました。通っていた京都大学の近くにもエルファの事業所があって、「遊びに来て」と言われた。そうして、はじめてエルファに行ったときに、ここが好きだと思ったんです。

介護の仕事はアルバイト経験だけ、それも補助だったので最低限度です。年配の方たちと接してはいても、介護の技術的なことはぜんぜんわかっていませんでした。エルファにくると、食事、お風呂、コミュニケーション、いろいろなことを全部しないといけない。はじめて、ほんとうに介護の世界に入りました。

介護は相手を 受け入れる仕事

金●エルファにデイサービスを受けに来る方がたは、しっかりしている人、障害のある人、病気の、身体が不自由な人といろいろです。だから、コミュニケーションのとおり方が一人ひとり違います。すごく忍耐が必要なんです。

最初のころの私は、主導的に接してしまっていたんです。そんなとき先輩から「介護というのは支援だから、その人たちの残った能力を伸ばすのが私たちの目標です。代わりにしてあげるのではないですよ」と言われた。それからは、その人が残している能力をうまく活かしながら、ここにきて楽しく時間をすごせて、いい思い出をもらえるようにはどうしたらいいかを考えるようになりました。それに、この人たちは在日韓国・朝鮮人だから、その民族



の文化などに配慮しながら接しようとか、そういうことを考えるようになりました。

教会と職場を 両立させる生活

教会の活動と介護の職場は、どこかでリンクしているのですか。

金●私たちの教会はボランティアで「故郷の家」によく行きます。介護はしませんが、たとえばクリスマスには教会のみんなで「故郷の家」で餅ついたり歌ったり、日本語で歌をしたりします。教会周辺にある費用でのゴミ拾いなどもししています。そういう社会活動を活動の根本精神にしていることでは、共通していると思います。

教会の活動資金はどうしていますか。

金●いまは自分たちの献金だけでやっています。ご飯をつくるなど、教会で使っているいろいろなお金をまかっています。

いき、いっばい問題になっているのは建物のこと。もともとは倉庫だったので壊れない。改修などがなくて、やっぱり近所に迷惑かけて……。これからは信徒は増えるから、早くもっと広いところにも引っ越さないとはいない。でも、みんな学生だからお金がないんです。

料理もみんなでつくるのですか。

金●はい。日曜日に教会でつくるのは中国料理が多いです。学生たちが自分で考えて、150人ぶんくらいを……(笑)。いろいろな国のいろいろな地域から来ているから、料理も多彩です。朝鮮菜がもっとった料理は幸いって、(笑)キムチもよく食べています。先輩が韓国人で生かす。

2011年9月24日(土)
エルファ (西宮市) 近畿地方北摂市町にて

エルファについては、3ページ、★さんのインタビューを参照。

インタビュー 02 バグアサ 京都PAG-ASA フィリピン人コミュニティ

タガログ語で「希望」を意味するPAG-ASA。PAG-ASAは、カトリック河原町教会を拠点として活動する京都在住の約70名のフィリピン人が結成する組織である。

メンバー…… 約70人
構成…… 男性20%/女性80%、40代50%/30代40%/その他10%。約80%は家族連れ

● 杉山ありさん(女性)
フィリピン・レイテ島出身。飲食店勤務。コミュニティ運営

京都在住のフィリピン人コミュニティであるPAG-ASAに所属し、コミュニティ活動も務める杉山ありさん。日本人配偶者からのドメスティック・バイオレンス(DV)を克服した経験もあります。DVに苦しむ人は少なくありませんが、外国人だからこその面する問題もあるようです。勤務先における話し、話を聞きました。

杉山●私も生まれ育ったのはフィリピン中部のレイテ島です。日本に最初に来たのは1990年、21歳のときでした。

異国で日本に

杉山●1985年ごろから、若いフィリピン人のあいだでは女性、男性を問わず、エンターテイナーとして日本に行くことがブームでした。私もフィリピンで2ヶ月、ダンスの練習をし、ライセンスをとって日本へ来りました。就労ビザの有効期間は3か月だけでした。

日本に来る前には、日本にどんなイメージを持っていたのか。

杉山●戦争のことを祖父から聞かされていたので、私自身の日本のイメージは、とても悪かった。祖父は日本軍の志士に捕まったこともあったそうです。

でも、日本に行ったらお金持ちになれる。両親ががんばって働いても生活はたいへんだから、私がなにかしなくてはと考えていました。だから、日本の大きなホテルで働く仕事があると聞かれたとき、親の反対を押し切って行くことを決めたのは、自分自身でした。

妊娠、帰国、再来日

杉山●仕事の話は、半分は真実でした。踊りではなく、水浴場の仕事でした。でも、そのときに旦那さんと知り合って、妊娠してしまいました。仕事の契約で来ていたので、日本でもフィリピンでも、それがベネフィットになりました。

妊娠して、やっぱり親には話さないといけなくて、気持ちを落ち着かせるために、両親に相談しました。両親は、なにもしない、その体のまま帰るなさい。それで妊娠7か月を過ぎてフィリピンに帰り、出産をしました。

でも、子どもがフィリピンで生まれたら日本国籍をとるのがたいへんだから、その前に日本に帰るように旦那さんに言われた。それで、2人めは結婚ビザで来りました。

最初の結婚ビザは半年間。次は1年。その次の3年間、だんだん延びました。2人めの子もできて、2年めまでは、私は幸せでした。

夫のDVに10年もの間、悩む

杉山●11年間の夫婦生活で、幸せなのはこの2年間だけ。あとは旦那さんのドメスティック・バイオレンス(DV)に苦しみました。子どもは3人、4人と生まれましたが、私はDVの被害者として8年間ずっと悩んでいます。

いつも束縛されていて、一人で買い物に行かせてもらえない。旦那さんは私を自分のロボットみたいに使っていました。「なんのために結婚するのか」と、幼稚園からの連絡を断るのも、こっそりトイレで辞書を使って……いま考えれば、私が日本語を勉強していられたことができたようになるのが嫌だったのね。旦那さんは、私の周

りにフィリピン人の友だちがいろいろいるのももちろん、日本人も助かりました。

なんとか教会に行けるようになったのは8年めの1998年。子どもが入院して、その付き添いで、それまでより自由に外出できるようになったからです。

私たちフィリピン人の約80パーセントはカトリック教徒です。だから外門に行き、まっさきに頼るのは教会です。そこで友だちができて、宿題をもらえら。だから、旦那さんは私をそこに引き寄せたくなかったのですね。

1枚のちらしがきっかけで 支援組織へ

杉山●そうしたら、住んでいた地域の保健婦からのお知らせがありました。タガログ語で、「問題がありますか、悩んでいますか」。そのちらしを友だちが家に内緒で渡してくれました。悩んでいるってわかっていただけだね。

日本に1年間いましたが、そのときの私は日本語があまりできなかった。その友だちが電話を掛けると「保健婦にまわしてください」と言われました。それで、どうしても我慢できなかったとき、保健婦に電話しました。

私は一所懸命、日本語を話そうとしたけど、泣きながらだったから、保健婦の方は英語でもいいかと聞いてきた。英語も少しわかるし、どうしても聞けていなかったのが京都府国際センターを紹介してもらいました。

でも、英語ではなくてやっぱり母語のタガログ語がいいと、泣きながら訴えました。「わかりました。ここでは京都YWCAのAPPT[®]につなぎます」と言われた。そこでやっと、タガログ語ができる人と、はじめてゆっくり話すことができた。

DVなんてわからなかった私は、ただフィリピンに帰りたい。それだけを言いつけました。APPTの方に、「あなたはDVの被害者だ」と言われた。最初は、「なんでもか、夫婦のふつうの喧嘩だろう」と思い込んでいたから。

DVは、被害者が被害者であることを自覚できないケースが多い。相談に来るにつれて、次第にわかるようになっていくんですね。

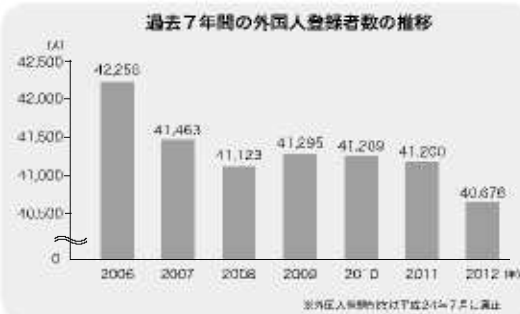
世界からやって来た あなたの身近なお隣さん！

京都市の 外国籍の住民基本台帳登録者数

出典：京都市国際化推進室（単位：人）
2012年12月現在

国籍(出身地)	登録者数	アルゼンチン	13	イエメン	4	モルディブ	2
韓国	22,121	オーストリア	13	カメルーン	4	ルクセンブルク	2
中国	9,486	ブルガリア	13	グルジア	4	エストニア	1
朝鮮	1,882	ブリス	12	コンゴ民主共和国	4	ニルサリ(ドナルド)	1
米国	951	コロンビア	11	ザンビア	4	オマーン	1
フィリピン	681	チェコ	11	パラグアイ	4	カボネ	1
台湾	665	フィ	11	ベネズエラ	4	ギニア	1
タイ	369	ウズベキスタン	10	ペルー	4	キプロス	1
フランス	358	サウジアラビア	10	イラク	3	グアテマラ	1
英国	322	ケニア	9	ウガンダ	3	クウェート	1
ベトナム	293	ジャマイカ	9	ガナ	3	コスタリカ	1
インドネシア	286	シリア	8	セネガル	3	シブチ	1
インド	248	ガーナ	6	ドミニカ共和国	3	ジンバブエ	1
オーストラリア	221	ナイジェリア	6	ハンジラ	3	スウヰデン	1
ドイツ	200	ギニア	7	マリ	3	セーシェル	1
スバール	199	クロアチア	7	マダガスカル	3	シロモン	1
カナダ	196	スーダン	7	ヨルダン	3	ニジェール	1
ブラジル	145	トンガ	7	リビア	3	バハマ・ニューギニア	1
ロシア	136	ノルウェー	7	スロバキア	3	パルチ	1
マレーシア	116	ボスニア	7	アイスランド	2	ブルネイ	1
イタリア	106	アゼルバイジャン	6	スロバキア	2	ボスニア・ヘルツェゴビナ	1
スウェーデン	81	トルクメニスタン	6	エグプト	2	マラウイ	1
スペイン	76	オーストリア	6	モロッコ	2	モザンビーク	1
ニジフト	73	エリツ	6	スコペニア	2	ラトビア	1
モンゴル	71	リトアニア	6	ホルバ	2	リトニシグ	1
ペルー	65	アンゴラ	5	マルバ・キンデネグ	2	レバノン	1
ニュージーランド	64	エチオピア	5	チニ	2	モザンビーク	1
イラン	60	スロバキア	5	ニル	2	モザンビーク	1
ハンガリー	48	タンザニア	5	バレン	2	モザンビーク	1
タイ	41	マリ	5	ブルキナファソ	2	モザンビーク	1
スイス	38	アルジェリア	4	ボツワナ	2	モザンビーク	1
メキシコ	38						
シンガポール	36						
フィンランド	36						
オランダ	33						
スリランカ	32						
ルーマニア	31						
アフガニスタン	29						
ベルギー	29						
トルコ	28						
ハンガリー	26						
イスラエル	23						
ウクライナ	22						
ドミニカ	22						
アメリカ	21						
ポーランド	20						
デンマーク	16						
南アフリカ共和国	16						
インドネシア	15						
スロバキア	14						

合計 40,676





Edwardo ESCALANTE
エドアルド・エスカランテ

●男性/メキシコ/旅行家

★京都には、Tミ箱やベンチや公園がもっと必要だと思えます。でも京都はきれいで、バス網はとても便利です。
柔軟な態度を保ってください。規則はあなたちが思っているようなほど大切ではありません。



Perrin LINDELAUF
ペリン・リンデルラフ

●男性/カナダ/英語の先生・ソーシャル・シオグラフィックの仕事をしています

★京都にきれいな地区があると思いますが、京都市は伝統的な建築をもっと守ればいいのです。京都の想いはもう他の町と同じみたいです。私たちは京都の伝統を守らなければなりません。



田村 豊国
タムラ・トヨクニ

●男性/中国、黒竜江省(ロシアの隣)/kokoka京都市国際交流会館で日本語の勉強をしています

★ここ(kokoka京都市国際交流会館)がとても好きです。嵐山が大好きです。山と川はとてもきれいです。嵐山の下は橋は多いです。でも道は狭いです。

林 義昭

イム・ジュウ

●女性/韓国、ソウル/主婦

★京都はとても好きな場所です。だからその環境をよく守ってください。

Regina RILLO

レジナ・リッロ

●女性/アメリカ/京都で働いています

★私は日本についてもっと勉強したいと思っています。そのために、京都が一番いい所だと思います。皆さんはとても親切で、いつも助けようとしてくれます。



Karl JANSMA
カール・ジャンスマ

●男性/アメリカ/京都で一般的な生活をしていきます。目的は人びとを助けること、役に立つことです。

★京都が一番良いことと同時に一番悪いことは天気です。良い天気なら素晴らしいですが、悪い天気なら、とてもめんどくさいです。私はきれいな景色と自然が大好きです。それにきれいで古い建築も好きです。たくさんのお店をそそる神社や、緻密な装飾が美しい寺があります。一言で言えば京都は素晴らしいです。



鄭 立紅
テイ・リツコウ

●女性/中国、河北省/主婦

★京都は古い歴史がある町で大好きです。kokoka京都市国際交流会館で日本語の勉強の場所をいただいて、心から感謝しています。

Nesin MILUTIN

ネシン・ミルチン

●女性/ルーマニア/旅行家

★京都はきれいな町です。でも、レストラン・フォークとナイフが欠けていると思います。それに若干の所で英語の説明も欠けています。もっと英語の説明が必要だと思えます。

Mari KOLEHMAINTEN

マリ・コレマインテン

●女性/イギリス(母国はフィンランド)/留学生

★皆さんはとても親切なので、生活しやすいです。だから私はありがとうございます。

ARAKI Melody Jean

アッキー・メロディー・ジャン

●女性/フィリピン/京都で結婚生活を送っています

★京都は古い町なので、とても好きです。



FRASAASA主催のクリスマスパーティー

DVDと納得するまで2年かかりました。やっぱり子どものこともありました。そんなにみんなに逃げられない。11年間も住んだ家の玄関から一歩出たら、次はどんな生活があるのかとか、不安だらけでした。

シスターの言葉で簡単に読み切る

杉山●カトリック教会が母をアドバイスすることは、ほんとうは許されていません。でも、そのときシスターから、「あなたは今まで我慢するの」と言われた。私も、子どもたちが大きくなるまでと、「でも、コップに水をずっと入れると、どうなりますか、あなたの頭もそうなります。ずっと考えている。あふれてしまいます」。

私もふんわりローゼになっていたのしょう。もし自分の頭がだめになったら私と子どもはどうなるのか、それだけ考えました。私がしっかりしないと子どもが弱くなるぞと思いました。APTに「いまから出す」と断言して、次の日に行きました。それまでずっとAPTは待っていてくれました。

決めるまで自分とのかたがいていました。旦那さんのことはもうどうでもよくなっていました。子どもは離れないと言われていた。でも、ほんとうは自分が面倒を見られないから、押し付けられているだけだった。もっともっと早くに出たらよかったと、いまになって思っています。

2年間相談してもらっていたAPTからは「家を出るとき、パスポートは作らないで忘れたらあかん」とアドバイスをもらっていました。

婦人相談所から母子寮に

杉山●教会とAPTに助けをもらい、婦人相談所での保護をしばらく受けまし

婦人相談所では、ごほんも用意してもらえ、ゆっくりといろいろなことを考えました。同じように悩んでいるお母さんと子どもたちもいて、考え方が違ってびっくりしました。

次の一歩は母子寮でした。寮にいったい入るの、ふつう子ども2人だけです。私は4人いたから、あちこち探すことになり、とてもたいへんでしたが、APTの助けでなんとか母子寮に入ることができました。

母子寮には2年4か月。私には仕事がありませんでした。生活保護をもらっている子どもたちは寮から学校に通いました。アパートに移れたのが2001年。

母子寮に入ってから3か月からはアルバイトを始めた。いちばんの子どもを7歳前に保育園に預けて、あとの3人を学校に行かせる。母子寮の生活もたいへんでした。みんな、つらい思いで、婦人相談所よりもつらい。

子どもたちのけんかが増えました。杉山●そう。うちには男の子2人、女の子2人だから、女どうしでけんか。

日本語で自分の気持ちを伝えたい

杉山●もちろん、お母さんどうしの問題もあります。子どもたちが外でけんかして、「外国人だから、話にならない」と言われたこともあって、心が痛んだ。どうしても日本語を自分で話したいと思いついて、「私は言いたいことがある」と、原先生に自分から話しました。

そこで、母子寮の先生といっしょにYWCA・APTに相談して、日本語の勉強を始めた。日本語はまだそんなにわからないから、YWCAのいちばん下のクラスからです。きょうは何時に起きたか、なにを食べたか、そんな日記を書くことから始まりました。それから自分の言いたいことを少し

ずつ、ローマ字で書けるようになりました。日本語の先生に、こんなことを言いたいけれど、どう書いたらいいかわからなかった。

母子寮で勉強がはじけられた時期があった。先生にお願いで、外国人だけれど、私も日本の市民として子どもをここで育てるから、人間としてみんなと仲よくしたい。自分の書いた文章を周りのお母さんたち、みんなの前で読みました。

離婚後、旦那さんからの連絡はまったくなくなったのです。

杉山●ぜんぜん。母子寮で生活保護とアルバイトで生活していました。

不満はあっても

日本の社会保障制度に助けられた

杉山●これは私がとても言いたいことですが、被害者なのになんで私が逃げなくちゃいけないの、なんで私が名前を変えなきゃいけないの、と思います。家を出て母子寮に入ったとき、11月被害者だから、本名を使ったらあかんと言われた。しばらく名前を変えました。住民票の移動もできないので、2009年の定額給付金も貰えませんでした。

振りかえられて、日本の社会は杉山さんに優しくなると言えるでしょうか。

杉山●私が子どもを4人連れて、フィリピンにいたら死んでいました。やっぱり日本は支援の点で違います。学校でも、私にも、病室でも、ぜんぶ支援がある。生活保護などもある。それには、ほんとうに心から感謝しています。

母子寮に入り、3か月後に離婚できました。そのあと、親や生活の変化から、パニック障害になりました。いきなり涙が止まらなくなりました。泣いたり、なにもできなくなりました。なぜなのかわかりませんでした。

その治療はずっと無料でした。私が安定するまで生活保護が支給されました。日本の支援があったのは、自分だけでなく、学校などでも子どもたちに支援する制度があることです。

DVによるPTSD(外傷後ストレス障害)です。それを克服し、社会復帰するまで支援があったのです。

杉山●京都は近くの喫茶店でアルバイト



コミュニティの自主性や気持ちも尊重し、活動を変えるサポートができる日本人はもっといるのでは？

活動を支えるサポーター
必要とされるサポーター

コミュニティが活動を維持するには、いろいろなサポーターが必要。どのコミュニティも会費、費金確保、事務的なことは悩みの種のような。

子どもの教育と
地域のつながり

子どもの教育は、どのコミュニティにも共通してみられる課題。関西フランス学院では、「日本式とフランス式の両方」をめざして保護者が頑張っておられた。開校になった小学校を利用されているのはユニーク。しかし、地域の学校ではないので、地域とのつながりはあまり無いみたいで残念。

日本で暮らす外国人こそ、こうしたネットワークの多様性を発揮して活躍できる人材だけれど、まだまだハードルは高い。仕事に似て資格の取得や求職活動等にも支援が求められるね。

エールを訪問して、外に開かれた施設にしようとする職員さんの実践が印象に残ったなあ。今では在日コリアンだけでなく、ニューカマー、日本人の利用者もいるんだって。ケアワーカーにも「多様性」という視点が必須になると実感した。

「多様性の尊重と受容」は、
より多くの人が自分らしく
いられることにつながる、
気持ちのいいこと。

京都には、約41,000人の外国人が暮らしていて、
私たちが気づかないところで、それぞれのニーズや
バックグラウンドによって形成されている外国人コミュニティがありました。
外国人支援ネットとしても、
もっといっしょに何かができることを探していきたいですね。

インタビュー
03

京都インマヌエル宣教教会

2000年にクリスチャンの留学生が集まって設立。おもな活動は礼拝、聖書勉強会、食事会、大学入試勉強会、日本語勉強会。

メンバー……29人

構成……学生15人、社会人14人、男性12人/女性17人、
20代50%/30代30%/40代20%

井 五輪(エン・オウン、Oh-sun Yoon)さん
韓国光州市出身。大学教員

上京前、鳥丸通りに面して建つ3階建ての建物。韓国人を中心とする留学生が集まる京都インマヌエル宣教教会です。礼拝室や食堂などの信徒のためのスペースが揃ったビルの一階でインタビューに答えてくれたのは井五輪さん。韓国人の留学生のために、韓国から留学して立命館大学で学ぶ尹さんに、教会の活動とご自身の留学生活についてお話を聞きました。



井五輪さん

来日されたのが2002年。どんなきっかけでしたか。

井 当時、韓国でマンガやアニメーションがブームでした。日本のマンガを学ぼうと、夫婦二人で来日し、日本語学校に1年間通いました。その後、立命館大学マンガ学部に入ったのですが、私は合わなくてやめました。卒業した夫は、韓国の中学・高校でアニメーションやマンガを教えています。

留学生生活を全うできたのは教会のおかげ

井 私は立命館大学の経営学コースに入り直しました。修士論文を書いて、いよいよゴールが見えてくるころまでです。いろいろな悩み、苦労もあったのですが、この教会があって私

はここまでくることができた。それは口付けをもって言えます。

日本に来てすぐに、教会に参加されたのですか。

井 2011年の4月に日本に来て、教会はじめて来たのは12月だったかな。教会には子どものころから通っていましたが、ここは違う宗派でした。

この教会の最初のメンバーは4人。韓国人の留学生が集まって教会を建てたのです。私にも通じたのもそのうちの一人、同じ立命館大学の留学生でした。

食事に魅かれて
留学生が集まる

井 外国に来ていちばん苦労するのが食べ物です。初めのころは、信仰のちからに教会に来るといって、ご飯を食べに来る留学生が多かったそうです。(笑)ここでは三食ご飯を無料で食べられるし、キムチもありますから。

私と同じように、なりたい学校で知り合った留学生を連れてきて、メンバーが増えました。

教会のグローバルな
ネットワーク

井 教会の活動資金は献金で回っています。毎週の礼拝での献金、それにアメリカや韓国からなど、多くの人から支援してもらっています。

この教会は長老派の教会でも宣教

に力を入れている派です。教会のトップ、牧師さんはいつもはアメリカにおられます。牧師の礼拝では、アメリカで録音・録画されたビデオをここで聞いています。お話を聞くと、司会や賛美は東京にいらっしゃる宣教師さんがして、私はその下の執事という役割です。

1年に1回、世界各地から日本に宣教するためにアメリカ、ロシア、オーストラリアなどから人が集まる会があります。その教会のいちばん大きな行事で、そうした際にも支援をいただいています。

日本人の建て前と本音
にとまどった

井 京都の人とのつきあいはどうでしたか。井 最初はほんとうに傷つきました。(笑)日本人の友だちも、私の家にはよく来るのですが、でも、自分の家には招待しない。私の韓国語では考えられなかった。韓国で友だちのところに1、2回行った。自分の家にもかからず招待します。

何回も私のところに来て、キムチをいっぱい食べて、「次はうちに来てね」といってくれるが、じっさいには招待しない。それが何回かくり返され、やっと社交辞令だとわかりました。「日本人、日本人には本音と建て前がある」って、2年はかかりましたね。

日本や日本人の印象は変わりましたか。井 韓国では歴史的問題や、首飾などのいろいろな執拗な話で、マスコミであまりよい印象では伝えられていません。学友の先生たちもそうですが、そんな態度でずっと責められてきました。

日本に来て最初に「ああ、そうじゃない」と思ったのが、すごく親切なこと。それに、清潔で、時間にもルーズでないなど、生活的にきちんとしているところがすごいと思いました。

日本での生活で身につけて、韓国にも活かしたいことはありますか。井 あいさつです。知らない人にもあいさつするのは、すごくいいなと思います。韓国で、たとえばエレベーターのなかで、あまり知らない人に声をかけるのはちょっと嫌い。

とにかくは、時間を守りちゃんと守ること。

訪談にも敏感になりました。京都で最初に驚いたのは、どこに行ってもトイレがきれいだったこと。

「逆に慣れないことはありませんか。尹●留學生は、親戚でみんなが暮らしているのかもしれない。韓国ではほとんど家にシャワーを浴びます。日本で最初に銭湯に行き、なぜかシャワーがどこにもないのかと思いました。あとでやっとわかったのですが、みんなに迷惑をかけないようにという……。だから、気を遣うところが多いとわかったんです。(笑)」

直言されてもかまわない

「日本では「言わないけど、わかってほしい」というところがありますね。尹●留學生ですから、私に直接伝えてほしいのですが、面と向かっては言ってくれない。日本人はそういう性格なのですね。とくに京都人は。(笑)それがわかるんです。直接言ってくれればすぐ理解でき、次からは直せばいい。自分一人で留めるには、時間がかかります。留め人はすぐ、「こういうことはやめてほしい」と、直接的に言われて、困ることもあるのですが。(笑)」

地域との交流の機会がもっとあれば

「大学以外の、一般の地域の人とふれ合う機会がなかったのです。尹●私は京都府の国際交流センターでホムナ教家の先生をしたことがありま

す。でも、10年間住みましたが、市民との交わりが留學生が参加することは、あまり簡単ではありません。お年寄りや子供はたくさんいます。

「お祭りとか交流の機会があればいいと思います。この近くの上御幸神社の「さえずり市」には何回か参加したことがあります。

「教会の近所の方から、最初は賛美歌の歌い手や司会者もいました。教会がここに建てて1年くらいは遠慮をかけた。そのあとは、なにかあったら近所の人においで、韓国料理を配ったり、海苔を配ったり、ちょっとした交流もしています。

信仰を持つ者が助け合う体制

「ここに集まるみなさんは、とても信仰が強い方々です。日本に来て面白い外国の方が、なんとなく集まってきたりします。尹●最初はご飯や情報のために来るのですが、キリスト教は、もういわくなしの人。だんだん来なくなりました。信仰心のある人が残るのですが、もともとはキリスト教

徒と関係のない人もいます。最初は食事のために来たとしても、ここで祈りを聞いて信仰をもつようになる。それが私たちの目的です。経済的にはなんとかフォローしてあげようとしています。

「最近の円高で困っている留學生は多い。教会の近くには家もあります。経済的にはなんとかたいへんな人には、家に住んでもらっています。家賃は1〜2万円。さらに困っている人には無料で提供しています。

「アメリカ人の牧師さんは、何語でお説教をされるのですか。



以馬路宣教師教会、神やホムナ教家の目印



京都イソマール宣教師教会の様子



きょうと外国人支援ネットワーク 車座トーク

きょうと外国人支援ネットワーク(以下、支援ネット)は、京都府・滋賀県下に在住する外国人に支援やサービスを行なう団体や機関のゆるやかなネットワークとして、2006年9月から2か月に1回勉強会を開いています。今回、支援ネットはこのコミュニティ調査に協力し、インタビューに赴きました。さまざまな方たちから話を聞く中で、支援ネットの今後の活動の方向性や、コミュニティが抱える課題やニーズについても新たな発見がたくさんありました。

インタビュー先は、これまであまり接点のなかった団体がほとんどでしたね。
みなさんインタビューをしてみても、
それぞれの団体にどのような印象を持ちましたか?

「タ●開礼は、今回のインタビューをきっかけに、思いが具体化し、活動開始につながった。自分の思いを言葉にして、人に伝えることで活動目標がはっきりしたみたいで、2012年の春からは、韓国若年者層のための生涯予防教室を定期的に実施するようになりました。

「外●外国人女性の会バリエーションは、関わっている人の国籍が多様で国際色豊か。だからその難い部分もある。会の運営のために、とくに事務的な部分をサポートできる日本人協力者がいると良いなあ。

「タ●周知が活動立ち上げに成功したのは、助成金をもらえていることが大きい。お金と場所は大切だよね。そして、その活動を理解してサポートしてくれる人の存在が何よりなのかも。

「留●留学生を中心としたコミュニティでは、インターネットの活用が印象的だった。メールやブログ、SNSの活用やスカイプでオンラインで集んだり、情報交換や交流のツールとして活用されていた。

「教●会の関わりについては新しい発見。これまでで国定観念を歪めていたか、と思った。「宗教だから……」ではなく、いいやり方を模索していきたいですね。漢語活動等を行っている教会もあったけど、地域とはあまりつながっていないみたいで残念でした。

「シ●アのクラブ京都の活動は手探り感に溢れてるなあ。活動後のお母さんたちの交流があることが、すごく良かった。子どもの帰国準備だけでなく、お母さんたちの情報交換や悩みを話す場にもなっていた。でも、中心メンバーが少なく、たいへんそう。なにか支援があれば、もっと発展していくと違うかなあ。

「日●本で暮らす外国人の方にとって、教会の存在がこんなに大きいことにも初めて気づいた。教会は生活を暮らすことを受け止めてくれる場所になってるって気がした。PAG-ASAも宣教師も京都イソマール宣教師もそうだったね。

思いを形にしていこうという時には、
場、きっかけ、ツールが必要!

インドで一般的に食べられているスパイスなどの食材が京都では手に入りやすい。京都インド人協会には200人ほどのメンバーがあり、学生や研究者、IT企業の社員などが参加している。食品についての情報交換だけではなく、秋にはライトフェスティバルと呼ばれるお祭りを祝うが、インドばかりではなく日本人も参加する。

異国で暮らす外国人にとって心の拠り所となっている施設に教会がある。例えば、カトリックの多いフィリピン人にとって、教会はもたれが求められる大きな胼中であり、教会の存在なくして安心して日本での生活を送ることは難しい。キリスト教徒の多い韓国人にとっても同様で、日本での生活に苦しんでいた時に教会に救われたという韓国人もいる。一方、ロシア人にとってロシア正教は心の支えである。京都に住むロシア人の多くは日本人と結婚した婦人であるが、日本での生活が長くなってもロシア正教と関わりが切れるわけではない。しかし、京都市内にロシア正教会はあるものの開まっていることが多く、ロシア人にとっての悩みの種になっている。

日本と京都に対する思い

インタビューを受けた外国人が口を揃えるのは、日本が清潔で安全で利便性の高い国であることである。そして日本人は時間を重り、親切な人が多く、だらしのない人がほとんどいないということ。多くの外国人が、日本の暮らし自体は快適であることを指摘する。

京都についても古都の素晴らしさを感じて暮らしている人が多い。一方、日本人との付き合いについては、多くの外国人が「本音と建前を知るには開けが怖い」「人間関係が難しい」「友達になるのに時間がかかる」と指摘する。外国人には地域社会に溶け込んで暮らすのが難しい都市だと感じている人が多いようだ。

日本で国ったこととして、日本人と結婚したフィリピン女性は、「お弁当づくり」と答えている。フィリピン人は本来おおかであるが、お弁当に何をいれればよいのかわからないという。日本の社会は他人を気にし、他人と比べ、細かなことにも注意を払う。それを彼らは敏感に感じ取り、しだいに神経質になっていく。

日本人と接し、日本人と付き合っているから暮らしているかどうかは、日本での社会的な立場や日本語の能力によっても大きく異なる。留学生以外から来日した外国人にとって、日本語の習得は極めて難しい。成年になって留学生以外から日本に来た外国人にとって、日本人の成人レベルの日本語ができるようになるのは不可能に近いようである。

ある程度、日本語ができる外国人は多いものの、生活で

困るのは医療機関にかかる場合や学校から子どもが受け取ってきたプリントが読めないことなどである。また高齢化が進む日本、韓国・朝鮮人一世には、ハンデルで対応してもらえる高齢者介護施設が必要になっている。

漢字国出身でありながら、日本語の読み書きがほとんどできない外国人の人々もいる。在日韓国人一世の中には就労経験が全く無い人もいる。また高齢になると日本語を忘れる人もあるという。残留留児などの中国帰国者一世は成年になって日本に帰国したため、日本語能力が乏しい人も多い。帰国者一世は京都市内に100世帯ほどいるが、彼らはむしろ、日本国籍の日本人である。しかし、家族以外との交流が少なく孤立しがちで、日本に帰りながら一般の日本人の暮らしがどのようなものかを知る機会のない人たちが数多い。

日本社会への貢献

日本に住む外国人の暮らしぶりは多様であるが、彼らは京都にさまざまな面で貢献している。市内の店舗でモノを購入し、交通機関を利用し、家賃を払い、仕事をし、家賃を支払うなど、人としての生活をおとして京都の経済に役立っている。彼に一人毎月200万円を消費するとすれば、41,000人の外国人が京都で消費する額は800億円を超える。

彼らの貢献は単なる消費だけではない。インタビューで答えた人の中には、地域で母語を教え、日本人がネイティブスピーカーから習字を学ぶ機会を提供している人もいる。また大学で研究者として働く人、介護の仕事に携わる外国人もいる。一般に、日本で暮らす外国人は日本人以上のバイタリティーを持っている。日本人と異なる感性と見方で、地域社会で起る人。あるときは地域活動のリーダーになって活動する人もいる。また日回到日本について紹介し、日本を積極的に海外に情報発信しようとする外国人も多い。日本人が知らないところで、彼らは京都の生活を世界に情報発信している。

日本社会が閉鎖性を増し、内向き志向が強まる中で、世界と京都を結びつける貴重な存在として外国人住民とらえることができる。青年時代を京都で過ごした留学生は人生の宝物として京都での生活を胸に抱き続けるだろう。また、京都で定住している外国人には、京都を心から愛し、京都を自分のふるさと感じている人も多く、京都にとって彼らは、知られざる大きな財産であり、無限の可能性を持つリソースといえる。一般の市民も彼らの暮らしぶりに関心を示し、彼らと日々接する機会を増やすことが、彼らの京都に対する貢献をさらに増進させる大きな一歩になるだろう。

(めいじか・としひろ)

●韓国系アメリカ人です。韓国語です。このメンバーは韓国人が中心ですが、日本人も3人います。ロシアやアメリカ、中国の方もいます。中国でも朝野派が多いですね。去年までは、オーストラリア人がいました。

もっと日本人にも広めたいですね。そのために教会を建てたので。最近では英語と韓国語、それに留学生のための日本語教室も設けて語っています。月に一度の英語講座もやっています。無料で空をカットするのです。求人や立寄りのミヤマー人が多く来てくれます。

メンバーが京都に残れないのが残念

●学生が主体ということと、メンバーが入れ替わるのです。

●就労活動をして、京都では企業が少ないので、大阪での就職が多くてしまいます。この10年間、私たちの教会から京都で就職した人はいませんが、ほとんどの大阪、東京、名古屋などです。この教会が好きで残りたい人いるのですが、京都では就職があまりない。

●尹さんも大学院を修了されました。尹さんは、美容サービスのマネージメントを勉強してました。韓国の大学で就職に就くことが一番の理想ですね。韓国では、総合大学や大学院に美容学科があるんですよ。

●2歳の娘が、韓国の私の両親のところにいます。子どもが生まれてからは月に1回、韓国に帰っています。京都で1か月間、勉強の生活をし、韓国に1週間くらいいる。これまで3年、それをくり返してきました。博士論文のためだったとはいえ、やっぱり家族はいいですね。



に住まないと意味がわからない。これが私がこの2年前で悟ったことです。(笑)

ネットワーク拡大が今後の課題

●この教会の今後の課題や、こうなったらいいなという希望はありますか。

●もっと交流を広げたいですね。キリスト教者もしていたのですが、去年からなくなっています。私が今年帰ってしまうように、メンバーたちが帰ってしまうんです。いちばん多かった時期は60人くらいメンバーがいましたが、最近では日曜礼拝でも35〜40人までいかなければいけません。

●いま、みなさん夕食中ですね。尹●毎日、10人から15人分くらい作ります。水曜日と土曜日の礼拝のときは40人分ちかくです。よかったら、ごいっしょにどうですか。親子丼みたいですね。さようは韓国料理じゃない、めずらしいですね。(笑)

2011年10月26日(木)
元教会メンバーと訪ねる会(京都市上京区八坂門前)
元教会メンバーと訪ねる会(京都市上京区八坂門前)



みんなであついでに。

高齢化する中国帰国者一世への支援をきっかけに、二世とその支援者を中心に2011年4月に結成。きっかけは京都の大学が行なった、高齢の外国籍住民と外国の文化をもった人を対象とした生活調査だった。
<http://xiyanghong.blog.fc2.com/>

メンバー……15人
構成……学生1人/社会人14人、男性2人/女性13人、40代が中心

● 劉 麗(りゅう りい)さん 中国出身、市役所職員
● 劉 麗(りゅう りい)さん 中国出身、市役所職員
● 劉 麗(りゅう りい)さん 中国出身、市役所職員

第二次世界大戦の終戦時、中国大陸に引き残された補給できなかった中国兵と戦死した兵隊の遺族がいます。1980年代後半から90年代にかけて日本への帰国がめづりませんが、言葉や習慣の違いから、日本での生活にさまざまな困難が伴っています。

「夕陽紅(シーヤンホン)の会」は高齢化が進む一世への支援と、その家族である二世、三世を含めた中国帰国者が地域社会でよりよい生活を送ることをめざして結成されました。夕陽紅とは、夕陽が落ちていく最後の輝きという意味です。「人生の最後をもう一度輝かしく彩ってもらうために」という意味が込められています。会のメンバーである中国帰国者二世、三世の3人に話を伺いました。

伏見区の醍醐・小栗町地区で実施した、「小栗町お年寄りアンケート調査」に加わった戸田博美さんは、二世の一人です。

戸田さん 19年前、残留孤児であった月娘の呼び寄せで日本にきました。自立した生活のために母は奮一戦やってきました。ただ、15年前に父が亡くなってから、体を壊してしまいました。そんな母をなるべく理解してあげたいという気持ちで、参加しました。



戸田さん

ひきこもる残留孤児の母を理解したかった

戸田さん 70歳を過ぎた母は足が弱り、外に出かけるのを避けるようになります。母は介護士さんからサービスの利用をすすめられたのですが、言葉が通じないのでみんなから孤立にされているように感じます。それで行く気がなくなりました。中国帰国者が集まる場所がありません。家でじっとしているほうがありました。そして、毎日テレビを見る



劉麗さん

だけの生活をずっと続けています。

母は、小さいときから人の何倍も苦勞を承ねてきました。他人に心を閉ざる人ではないんです。しかも孤児の経験のある人だから、心を閉じてひきこもってしまう。自分はなんでもかみだ」と考える。自信がないんです。

支援を受けるだけでなく 本人の意識を変えたい

戸田さん 母のような人には、支援者に近づいてもらうより、本人の心を広げることのほうが大事だと思います。心を開くためには、何者かどうしの交流が必要ですが、それが第一歩だと思います。インタビューでみんなの話を聞いて、自分の思いも話して、そのことに気づきました。

調査の結果、孤立化や言葉の問題が浮かび上がりました。帰国者に対する支援について中国語で説明する必要があります。そのために調査の参加者が毎月開いたミーティングが夕陽紅の会につながりました。会が結成したのは2011年4月。その前から問題に気づかれた劉麗さんは、少しずつ活動に参加してこられました。

劉麗さん 中国から日本にきたとき、私はもう50歳を過ぎていました。日本語ができないので、はじめの5年間は閑居の仕事をしました。

帰国者が本心を 語れる場がほしい

劉麗さん 帰国者たちは孤独、本心を他人



戸田博美さん

お隣さんは外国人 京都の多文化社会の実像に迫る

公益財団法人 日本国際交流センター
執行理事
毛受 敏浩

はじめに

京都市には2011年末現在、41,000人の外国人が暮らしている。日本が世界に誇る国際観光都市である京都を訪れる外国人観光客は年間100万人を数えるが、その一方で、京都市に住む外国人もその人口の3%近くに達している。

京都市民にとっては外国人の存在は身近なものであるはずだが、彼らの京都での暮らし方を理解している市民は意外に少ないのではないだろうか。「京都国際外国人コミュニティ」は、京都市に住む外国人の日々の生活を明らかにするとともに、外国人として一掃に与えられることのできない多様性、さまざまな暮らし方を一般の市民に知ってもらうことを目的として実施した。

焦点を当てたのは、外国人コミュニティの存在である。2011年末現在で、京都市には136か国の外国人が居住しているが、日本人が数千人におよぶ規模で住む外国人は独自のネットワークを構築している。日本で暮らすにあたっての情報交換を行うほか、自国のお祭りや宗教行事を維持するなど、異国で生きるためのさまざまな生活の知恵を身につけて暮らしている。

大学が多い京都市には留学生も多いが、数年前で帰国する彼らも独自のネットワークを持ち、新しい学生へと引き継ぐことでネットワークを維持している。また日本をふるさとと看做し、終の棲家として京都に定住する外国人もいる。今回の調査では、11団体にインタビューを行ったが、彼らの京都での生活ぶりが鮮明に伺える。

在住外国人のネットワーク

海外に移住した日本人が日本人街を作るように、日本に住む外国人がコミュニティを作るケースがある。横浜や神戸の中街がその典型だが、言葉や文化の異なる異国の地で、その土地の情報をシェアし、またあるときには自

国の文化を仲間と共有することで励まし、明日への活力の源にするというのは、海外で暮らす人間が陥り出した暮らしの知恵といえる。

京都では、中華街のように特定の地域に一定の住民が居住するような状況は生まれていないが、それでも同じ国の人間同士は互いに関係を深め、おのずとネットワークを形成していく。今ではそのネットワークはフェイスブックなどSNSを介したものになり、特定の地域に集住しなくても同じ国の出身者が集まり、コミュニティを形成している。

京都市の中にあるそうしたコミュニティの例として、ベトナム人留学生青年会がある。1995年に発足し、ベトナム人留学生を中心に100人以上が参加している。彼らがこうしたネットワークを組織するのは、お正月のパーティーなど、ベトナムの文化を同国人とともに祝いたいという気持ちがあるからであろう。また日本での生活でわからないこと、困ったことを先輩の留学生から学ぶ上でも有益である。さらに外国人にとって自国の食文化は懐かしいものだ。ところがベトナムの食材は京都ではなかなか手に入らないという。ベトナム人にとって、自国の食材がどこで買えるかは重要な情報となる。もちろん留学生にとっては、勉強や就職など先輩に相談しアドバイスを受けられるコミュニティは極めて大きな存在である。

インドネシア人女性によるコミュニティも京都にある。Au-nisa shalishahと呼ぶこのグループの活動は多くのインドネシア人がイスラム教(イスラム教)であることから、コーランをもとに読み、日常生活の課題などをさまざまなテーマで話し合われている。日本語が流暢なインドネシア人留学生にとっても、インドネシア語で同国人と話し合える場は貴重な息抜きの場所である。メンバーは数人のうちに入れ替わる場合が多いものの、メンバーに赤ちゃんが生まれると皆で祝うなど、絆として一体感のあるコミュニティができていく。

イスラムのインドネシア人が日本で苦労するのは、食事である。日本食が口に合わないというのではなく、厳格なイスラム教は豚肉によって豚肉を食さないなどのさまざまな決まりがあり、ハラルと呼ばれる宗教的に許された正しい食事とすることが求められる。早く豚肉を食べないという単純なものではなく、お菓子で使われる油やショートニングが動物性か植物性かも確認しないと、厳格なイスラム教は食べることができない。その意味で、日本で入手可能なハラル食品についての情報交換が不可欠であり、彼らは、一般の日本人の想像を超えたさまざまな悩みや課題を克服しながら生活している。

その点はインド人も同様である。モンゾー教徒の多いインド人の多くはベジタリアンであり、野菜は入手できて

京都地域外国人コミュニティ 基礎調査 インタビューを終えて



に伝えることがありません。日本に来て日本語ができません。周囲から差別されてとてもつらかった。そのつらさ、気持ちをだれに言えなかったでしょう。家族に言えれば心配されます。友だちに言えれば笑われるかもしれません。日本に住み、仕事をして、帰国者のみなさんと接するうちに、そんな心の壁がぐいに崩壊できるようになりました。

帰国者どうしと支援者との交流の場が重要であると感じられ、それが夕陽館へとつながる第一歩だったのです。帰国者日本に来てから小塚日本語教室*にも参加しました。一世の方たちといっしょに勉強しましたが、そのときはみなさん素直で、勉強も熱心です。ふだんとは違います。

教室には、帰国者ボランティアさん、帰国者たちの事情をよく理解してくださる日本語の先生方がいます。みんな、ほんとうに小塚日本語教室を楽しみにして、交際していました。そういう日本語教室があってほんとうに良かったと思います。

既存の福祉サービスでは 十分な介護はむずかしい

帰国者*の介護は5年制でした。でも、55歳を過ぎると、休養や言葉など

のいろいろな困難があった。そんなとき、支援者の方からヘルパーの仕事を紹介されたのです。ヘルパー2級の勉強から始めました。

多くの帰国者が日本できびしい生活を送ることを強いられています。介護保険や介護サービスなど、具体的な生活援助や身体介護ができたとしても、心のケアはむずかしい。

帰国者たちの生きた環境や生活背景、社会背景は、日本のみなさんとは異なる点で少し違います。各家庭の事情もある。食生活や生活習慣も違います。介護にしても、やはり中国語を使わないと、サービスを上手に提供できないと思います。

私は帰国者の老後生活の現実を深く考えるようになり、帰国者たちのためになにかしたいと感じていました。

病院においてさえ、 孤立する帰国者

帰国者ヘルパーの仕事をして、何人もの帰国者にサービスを提供しました。そうするなかで、思いもなかった問題を知ることにもなり、ほんとうにむずかしさを感じています。

ある一人暮らしの帰国者の利用者さんが、急に入院することになりました。

ある帰国者に行くと、その人はほんとうに困っていました。日本語で母国の注目ができず、ごはなが食べられませんでした。身内の人にもだれにも来られず、同室の人からも理解され、孤立していました。

ある日曜日、病院に行きつづけていました。移動でまわります。私は急いで病院に行きました。その方は一人でおぼえていました。だれも助けられなかったのです。待たせて、ほかのみなさんは明るいところに行きました。しかし、この人にはだれも教えてくれませんでした。いえ、きっとだれかが言ったのでしょうか。日本語ではわかりません。どういう状況か、どこに行けばよいのか、まったくその人にはわからなかったのです。

その後、考えました。このような帰国者には、私たち夕陽館のようなボランティアがどうしても必要です。通常の介護サービスでは足りない部分も、私たちも補えると思ったのです。

制度が周知 されていない現状

帰国者*の方が退院された後、速くにかさねさんに、「病院に入れるなら、なぜショートステイを利用しないのですか」と聞きました。すると、「そんな場所



夕陽館の日に志保さんと一室のみなさんへお礼

があるのですか」と聞き返されました。その晩さんはシュートスナイに行かせたくなかったのではなく、知らなかったのです。

調査を通じて、さらにたくさんさんの韓国語の声を聞くことができたのです。

朝鮮●つらい思いをしている韓国各々に、夕陽紅がいろいろの情報を提供したり、アドバイスしたりすることができるようになりました。ネットワークがあって、たくさんさんの支援があることを理解してもらえば、一人で悩む状況も減ります。家族にはほんとうのことと見えなくても、ボランティアの支援者にならざるを得ないかもしれません。

一世の介護には二世、三世の力が不可欠

朝鮮●調査の結果、シュートスナイやデイサービスを利用したい人は多かった。でも、中国語を話せるヘルパーさんはほとんどいない。私が考えているのは、これから二世、三世の若いヘルパーさんたちを育てる仕事です。

朝鮮●さんは、説明会で二世や三世の人たちにヘルパーの仕事がどういうものかを紹介されています。

朝鮮●私が4年間ヘルパーの仕事をした経験、とくに韓国各々にサービスを提供するうちに感じたことがたくさんあります。それを伝えて、できるだけ早く、たくさんさんの韓国二世、三世のヘルパーさんを育てることができるよう、がんばりたいです。

韓国書だけでなく地域全体での介護システム

朝鮮●夕陽紅といえば中国韓国各々のための介護施設をつくる会だと考えられがちです。でも、それは間違えではないでしょう。

韓国書二世である私の母は、いま夜間学校に通っています。学校には韓国語一世代、二世がたくさんいて、あきりにも韓国語が多いので、日本語を勉強したいのに中国語を話すことになってしまふ。「この2年間の自分の伸びはない、早くここを卒業して高校に行きたい」と言っています。母のような人にとっては、中国語韓国語しか知らない介護

施設はかえって不親切だといえます。

夕陽紅は韓国書一世を対象にスタートしましたが、二世、三世のことも考えなくてはいいですね。それに、地域も含めた幅広い分野での相互理解と介護を考える必要もありますね。

朝鮮●私も中学、高校に出向くなどして韓国書たちのニーズを日本のみなさんにも伝える活動をしています。

介護予防がもう一つの柱

朝鮮●夕陽紅のもう一つの重要な活動は、介護予防です。介護にならないように、健康状態を保つてもらうための健康講座を開こうと話し合っています。夕陽紅が予防しますのです。みなさんか介護予防の重要性を理解して、対策をほめてもらえれば、なによりです。役たぎりになれば、ほんとうにたいへんですから。

私は今年の3月に介護福祉士の資格に合格しました。さまざまな方から応援いただいたおかげです。

声出●私はヘルパー2級の資格をとって、現場に入ってまだ1か月です。勉強することがいっぱいあるんだなと感じています。これから一生、学ぶ気持ちで生きようと思います。朝鮮●さんに勉強させてほしいです。(笑)

次の世代の育成が双方にとって大事だということですが、朝鮮●さんは中国韓国書二世ですね。

朝鮮●はい、いまは小学校教員をしています。

京都府では、外西につながる子どものための日本語教室が設置されている学校が、小中あわせて13校あります。日本語を母語としない子どもたちが対象です。なかでも小幡町は、日本語教室が設置されている学校が最も多い地域です。私はそのなかの一つの小学校で、おもに中国韓国書二世、三世の子どもたちに日本語を教えています。

そのほか、子どもたちやその保護者の支援、通訳や翻訳などが私のおもな仕事になっています。

中国につながるルーツの大切さを教えたい

朝鮮●一世であるお母は、私の小学

校に亡くなり立派な、大きくなってからどうして自分は日本で生活しているのかと考えたときに、祖父母のたどった歴史がとて大分であることに気づきました。祖父母から聞くことは、もうできません。少しでも祖父母とつながれたいと思い、調査に参加しました。

世につながる自分などのようにとらえるかは重要な問題です。子どもたちは中国につながる自分をどうしてでもマイナスにとらえてしまいがちです。日本の学校、社会で、生きていくには、自身のルーツ、中国につながっている自分というアイデンティティを、気をつけて育まないとはいけません。

私はいま、小学校で日本語を教えるだけでなく、中国韓国書の話を伝えようと考えています。学校に始めて5年めですが、今年から教えるつもりです。そうしたら取り組むことがあったので、給食や給食のなどの教材をまるごと借りて送るつもりです。

いまの私では、日本の歴史のここに位置づけられていて、戦争とも深い関係がある。いまのあなたは、ここにつながっているんだよ」ということを伝えるだけで結構です。生きるうえでプラスのエネルギーになる程度までは、まだまだ達成できていないでしょう。でも、なにも知らないで卒業するよりはいいと考えています。

中国にはほんとうに大きいので、まずは中国につながる自分を感じる点を、いろいろなところから知ってほしいと考えています。たとえば、身近な食べ物、餃子はすごくおいしいなどからでもいいのではないのでしょうか。

中国につながる部分は自分の一部ですが、そのことが自分自身に与える影響は小さくありません。ですから、そこがより育つといい。あるていどはプラスがとれます。そこではじめて、自分の父母、祖父母が生きた歴史はどんなものだったのか、父母や祖父母はそのときを考えていたのかに考えが及ぶようになります。

朝鮮●外の人が来ると、最初もときどきとします。利用者が若者たちが来ると嬉しいのですが、やがていなくなってしまふ。世代——あと4、5年かなと思いますが、そう考えれば、ふれあいたい本音者はありがたい存在です。そういうふれあいは、おかしな先人譚を取っ払うよりいいですね。

見字にはアメリカ人、中国人、日本人、コリアン、いろいろな人が来ます。できるかぎり引き受けるスタンスです。

韓国からも研修生の方を受け入れていたのです。

朝鮮●そうです。泊まりがけのボランティア研修や、中学生や高校生、大学生のグループもあります。修学旅行ではなく、ボランティア体験をする目的で登録している団体もあります。見学を利用して日本の在日韓国書や文化、文化の施設をしたりする、ガトリック系の団体が多いので、支援活動もしつつです。韓国からの訪問には、利用者がいろいろ喜びますね。

介護の基本は、だれが相手でも変わらない

朝鮮●デイサービスの利用者に教えることは、とても多いんですよ。こんな例があるんです。じつは、高齢者がコリアンの慣習が違います。コミュニケーションもとれない、話さず受けられない、なにができるのだからと、リスクばかり考えてしまいましたが、当研修で受けられることになりました。

利用者に紹介するとき、「この方は耳が不自由なので、口を大きく動かして、ジェスチャーで自分の気持ちを伝えてください」と言いました。大笑いですが、「私たちが日本に来たときと、まったくおなじ」と。「私たちが日本に来たときは、耳がなくて音は聞こえても、なにを言われてもわからなかった」、「どう生きていけんねん。だいいじょうぶ。だいいじょうぶ」ハッとしてました。

たしかに電話は受けられないし、聞かれない業務もあります。しかし、ぜんぜん問題はありませんでした。耳が不自由なぶん、察する能力に長けていました。気が強いです。そのうち利用者が手話を覚えはじめ、「そうやって助け合っていていけんねん」という言葉で、私たちも1歩進めたといえます。

これは日本の事業所でも、みんなそうだと思います。介護はその人の人生になぞらえる仕事ですから、ある意味では重たいのですが、人生にとっていいことを吸収することになります。

状況の変化を捉え、事業に活かす

エルファの設立は2000年だそうですが、状況はいまとはまったく違ったものではあませんか。

朝鮮●はい。震災事件や小泉首相の訪朝があったりして、とてもしんどいときでした。松葉があり、青いアムがあり、ほんとうに在日をとりまく環境は変わりました。どうしても本国の情勢に左

右される立場にありますし、その意味でも不安定です。

「自分の国に行っても外国人扱いされ、日本でもつねに外国人。『いったい自分はなんなんや』という不慣れな問題を抱えている人たちの多い。でも、在日は在日だししかないわけですから。

在日としてのアイデンティティがあるわけですね。

市●そうです。三世、だいたい4の世代から上の人たちは、私は二世ですが、私くらいの年齢から上の人になります。だから感覚が古いといわれます。(笑) いまだに本国に帰ることもたくさんあります。本国の情勢がうちの家族の問題に降りかかってきますからね。たとえば、北朝鮮に行けないとか、韓国の大統領が代わったら、たちまちいろいろな懸念がわくとかがあるんです。

しかし、三世代くらいになると、そういう関係も減ってきます。そうすると、やはり日本でどう暮かに生きていくかを考えます。

歴史的なことも知ったうえで、日本と朝鮮半島の友好関係を築く仕事につきたいと思っている人がけっこういます。若い学生さんたちなので、いっそう嬉しいですね。

2012年3月5日(月)
ふれあいの生きた心でエルファ(ふれあいの心でエルファ)を創る

※本誌に掲載している、コリアンインクビュートは、



られる場所を追求するのがエルファらしきのだと思います。

多文化や多国籍性をスタッフが理解するトレーニングをされているのですか。

南●在日コリアンの職員のうち、二世くらいまでは日本に住んでいてなんらかの不便を感じて生きてきた人々です。そういう人たちは、あえて研修しなくても肌でわかる。感じとることができると思うのです。この人はこういう思いをしているのではないかな。ここがしんどいのではないかな。と想像力を働かすことができます。ですから、とくに研修はしてきませんでした。

しかし、世代が変わるとわからなくなるかもしれません。すでに四世の職員もいます。コリアンだからといって、其道の経験や価値観をもちっているわけではない。そういう人たちにどう対応するかは、これからのテーマです。

職員のほとんどがバイリンガルで日本語のほうがわかりやすいという二世の利用者たちも増えています。あるていど受け答えができて、書いている意味がわかる状態ではいます。

外国人介護のフロンティアとして

外国籍の人の高齢化にどう対応するかという点で、エルファの取り組みは日本のなかでも一歩先をいっています。ノウハウを伝えてくださいという要望が寄せられることもあるのでは……。

南●ええ、最初に関わったのは中国帰国者への対応です。介護職員や看護師を対象に中国語研修の準備をされていたNPO法人から「話を聞かせてください」との依頼がありました。私たちは、資格をもちている人たちに言葉を覚えてもらふよりも、中国語の二世、三世が資格を取ったほうが合理的だし、いざばい利用者に寄り添ったケアが実現できると判断しました。

すでに資格をもちている劉敏さんたちとお会いしたのですが、時間がなくて決断に至らない話でした。やはり仲断づきが出発点ですね。

自分たちの親の世代の老後を考えると、親たちが自分の言葉で意思疎通ができるヘルパーは絶対に必要だという問題意識をもつことがまず必要です。



図例、事のしりぞきまっつでは事業所ごとの生し物を支え、この日はハルビニエが手はコースに就任した。

ね。そして、そういうことを可能にする施設とヘルパーを自分たちで育成する環境づくりをする。私たちも、そうしていまにまっています。

中国帰国者も高齢化しますから、ぜひ必要はあるよということ、ようやくかたちになりつつある感じですね。今後はたぶん、日系ブラジル人も高齢になるでしょうね。

ニューカマーの利用者はいますか。

南●はい、ただ、震災の影響で帰国した人もいたのが減りました。ほとんどは日本で就労していて、日本で結婚した人々です。今後はそういうニューカマー——新たな一世の利用者も出てくるでしょうね。

在留資格で、たとえば日本の大学を卒業した留学生が、訪問ヘルパーとして雇って仕事をフルタイムでするパターンはありますか。資格を取るの難しいのではないのでしょうか。

南●ケアスタッフにも、そうしたニューカマーはいます。そういう人は、デザイナーではなく、訪問ヘルパーに多いです。

人材確保が大きな問題

南●それでも、エルファには、日本の大学を出て就職した中国帰国者の若い人がいます。日本語も朝鮮語も中国語もしゃべれるから、今後の対応を考えれば適任だと思います。

ただ、大学を卒業して就労ビザを取

得するのはたいへん難しくなっています。ですから、ビザ取得の申請にこんなことを書いて提出しました。

私たちの介護事業も、だんだん「多文化化」しています。コリアンのための介護事業として始めたのですが、これからの需要はコリアンに限らない、いろいろな背景をもった人々への支援が必要になってきます。そのときに、彼女のこれまでの経験がエルファには欠かせないと。

じつは、すでに中国からの帰国者を私たちは支援していたんです。「こういう人にサービスを提供するには、中国語ができるスタッフは欠かせない」と伝えました。なんとか「人文知識・国際業務」資格でビザが取得しました。

介護職では「専門職」としての就労ビザが出ないのです。日本はいま、フィリピンやインドネシアから看護士の資格をもちている人を、日本に受け入れる制度をとっています。

南●私はむしろ、すでに日本にいる在日外国人に積極的に日本の資格を取らせる制度をつくらねばなりません。そこに税金を使うほうが現実的でないでしょうか。

積極的に外部の人とふれあう機会

エルファは、外部からの見学者や学生ボランティアなどを積極的に受け入れておられますが、

語られない一世の思いは次世代に伝わらない

南●二世が困っているいまの状況は、本人に話さないとわかりません。私も、「苦勞したるうな」と思然と感じるだけ。具体的な話を聞いてはじめて、「ほんとうにつらいんだな」と思えるのではないのでしょうか。身内だと、「また言っているわ、どうしようもないな。元氣出して」となるのかもしれない。(笑)

調査でも、世代間の隔絶が問題になっています。

南●私は介護の仕事で接している中で、二世が自分の家族とどのくらい話せているか、よくわかっていません。二世に伝えることはほんとうに重要。そうはいっても、人生のほとんどを日本で生活してきた二世、三世は、一世の考え方がどこまで生活習慣にあまり理解できません。

たとえば、一世たちはものを大切にします。これが理解されにくい。お金はあるのに、なぜそんなにいいものを使いつづけるのか。これは個人の習慣や意志の問題ですね。でも、それはいろいろなものだ。「汚いから」と勝手に捨てられてしまいます。二世たちは捨てられても、ほとんど黙っています。あとでゴミ箱から拾って、使い続けます。

もう一つ、商品を捨てること。二世の

なかには、商品を捨てる人もいますが、それが家族のためには、まったく理解できません。多くはないが税金があり、生活で使っているのに、なぜそんなことをするのか。それにはいろいろ理由があります。

理由の一つは、日本ができていから。日本に来てからは、生活は自分の家の中だけです。日本はどんな国なのか、ほかの人がどのように生活しているか知りません。日本人の家にいったことは、ほとんどないです。だから、日本人の使った道具や物を捨てて研究します。なにに使うのか、なぜこの形なのか。そこから日本の生活を選挙しようとするのです。それがないに伝えます。勉強のための一つの習慣です。それが、二世三世には理解できません。

南●私の父は二世です。捨ててきません。私も理解できなかったのですが、そういうことなのですね。

バラバラだった帰国者が一つにまとまる場

南●国とひとまとめにされますが、世代間で生きてきた時代も、育った生活環境も違いあふれます。そういうバラバラな帰国者を一つにできる集まりや関係づくりを始めているのです。

南●二世、三世たちは、自分たちは帰国者の子だということにマイナスイメージ

がちなです。しかし、二世、三世であることをポジティブに生かすことで、中国の文化と日本の文化とがうまく融合することです。

一世たちは、これまで子どものための人生を送ってきました。中国の生活、日本での当初の生活はよくなった。それがようやく支援を受けたり、一世のことを理解する人が多くなり、そして、少し安定してきたところですね。

次世代の理解を得て一世たちに安眠の老後を

南●一世たちはもう70歳代以上です。残りの人生は長くありません。ずっと日本に来て安定して年金をもらって、これからは自分のための生活ができます。二世、三世の理解を得て、自分の意志で自分たちの老後の生活を送ってほしいのです。それには、二世、三世の理解は欠かせません。それがなければ、悲しい人生になります。

大きな目標かもしれません。しかし、できると思います。みなさんの努力が必要です。帰国者自身の努力と、周りのみなさんの努力の両方が必要です。

2011年11月13日(月) 東京都中央区銀座区民会館(旧日本赤十字会館)にて

※「エルファ」の活動は、日本赤十字会館(旧日本赤十字会館)の協力により行われています。
http://www.nicukyo.gr.jp/



多岐な活動で、帰国者の生活を支援するメンバーのみなさん

外国人女性の会パルヨン

2007年に外国人女性を支援したい外国人・日本人女性が集まり設立。外国人の女性、とくにお母さんが直面する問題に支援活動を行なう。
<http://blog.goo.ne.jp/paruyon>

メンバー……女性のみ80人
構成……学生10人/社会人70人。うち、日本人メンバーは30人程度。
約80%が家族連れ

代表者 早崎ニナさん
フィンランド、ヘルシンキ出身。翻訳家、大学先生

日本で暮らす外国人、とりわけ外国人女性がめぐる特有の課題があります。たとえば、日本人の夫と結婚した時、生活のための情報がとたんに手に入らなくなってしまうケース。そうした課題の解決に取り組んできたのが、外国人女性の会「パルヨン」です。会の代表でフィンランド出身の早崎ニナさんに、自身の経験に加え、会の活動について話していただきました。

外国人女性の問題は
自分たちで解決する

ニナさんたちがパルヨンを設立されたのは2007年ですね。どういう思いで始めたのですか。

ニナさん 京都府外国語市民協会の副会長（現・京都市多文化推進委員会）の妻になったんです。外国人女性にはこういう支援が必要だと僕さかせる会だったのですが、京都府はなかなか動いてくれない。予算がない、人材がいない。いろいろな問題があるという話になった。そこで、では、自分たちでやるしかないと思ったのです。

パルヨンとはフィンランド語で「たくさん」という意味です。たくさんの方たちが集まって、たくさん集まる時間を過ごせるような団体にしたい。だから、この名前を選びました。外国人団体であれば、あつち英語の名称にするでしょう。でも、それだと英語で話す団体だと思われそうでした。フィンランド語はだれも知りませんから。

日本人の配偶者が
おもなメンバー

ニナさんメンバーの多くは日本人と国際結婚した人たちです。それに、留学生や結婚した外国籍女性、それに日本人がボランティア、男性もイベントによって参加できますので、受け入れないということではありません。

メールによる支援活動や外国人女性の交流会を開催されていますが、交流会ではどんなことを……。ニナさん 知りたいことが月に1回、外国人女性が関心をもっているテーマを選び、それについて話せる講師からレクチャーを受けます。たとえば離婚問題だったら弁護士をお呼びして、そのあとみんなでディスカッション。それが交流会です。ただ、私が弁護士との競争で忙しく、最近ではできていません。

京都市国際交流会館や京都府国際センターで、大きなセミナーを年に2回やったこともあります。大学の先生を呼んで、異文化間コミュニケーションとか離婚問題、結婚生活がうまくいく秘訣とか、そういうテーマでした。

情報を得る機会が
限られている外国人女性

ニナさん 僕は、慣習宗教もやっていました。外国人女性にとって問題になるのは、やはり日本語の読み書きです。悪いこと日本で暮らし、日常生活は上手でも、読み書きができない人が多い。そうすると、いつも日本人の夫に頼らざるを得ない。夫婦仲がうまくいっていても、夫はいいのですが、夫のことが、たとえばご主人が亡くなったらいけないです。子どもたちが困るにいけないのです。だいたいみんな東京で就職してしまう。

そんな専業主婦の外国人女性には、



早崎ニナさん

情報が入ってこない。ネットの情報も英語に頼ってしまうから、人生や生活、活動の幅がとて狭いんです。だから、日本語の読み書きはぜひいそいそとできなければならぬ。でも、押し迫ったきつかけがないと、学習を始めるのはなかなか難しいようです。

メールによる支援活動には、どういった相談が寄せられますか。

ニナさん たとえば、ビザの申請がうまくいかない、あるいは「夫が失業して鬱病になってしまった」「心療科やセリウムを英語で受けたい」、そういう相談です。電話でもやっていますが、最近ではメールが中心です。細かいアドバイスができるわけではないけれど、心の支えになれることがあります。

パルヨンで使われる言語はおもに英語ですか。

ニナさん いえ、欧米出身者でも、ロシア人女性などに英語があまりできないし、東アジアや東南アジア出身者がどちらかといえば多い。だから、みんなの共通言語は日本語です。

とはい、日本語があまりできない人には通訳をつけないといけない。でも、ボランティアがなかなかいません。ある程度の日常会話だけでも、離婚問題などで法律の専門の語になると充分ではない。とくに中国語です。英語はしかたがなく私がやっています。

日本人の積極的な参加
を期待します

80人ほどのメンバーのうち、日本人はどのくらいですか。

ニナさん 30人くらい。日本人のボランティアは、たとえばここで受付をお願いします。

NPO法人 京都コリアン生活センター
エルファ

在日コリアンをはじめ、異文化を背景にもつ高齢者・難民者を支援することを目的に2000年に設立。住宅介護、デイサービス、訪問介護の高齢者支援事業、共同作業所を運営する障がい者支援事業、多文化共生事業、子育て支援をするほか、ホームヘルパー講座を開発するなど広範に活動。デイサービスは、八幡マダン東九条、八幡マダン南京都（宇治市）、八幡マダン洛北、八幡マダン洛西の4拠点がある。

代表者 南貞賢（ナム・スンギョン）さん
NPO法人京都コリアン生活センター エルファ事務局長

日本の社会がおかれた高齢化の問題は、在日外国人にも無関係ではありません。京都コリアン生活センター「エルファ」は、在日コリアンの高齢者支援事業からスタートしたNPO法人です。事務局長をつとめる南貞賢さんに、外国人の高齢者支援の現状と今後の展望を聞きました。

エルファを設立された経緯を教えてください。

南さん 2000年4月から施行された介護保険制度がきっかけです。社会保険制度の外で生きてきた在日コリアン一世の方がたは制度を使いこなせない。自分たちには問題ないと思いついて、無関心になる人も多かった。当時50歳代だった在日三世たちは、そのように心配しました。

在日一世に社会保障を届けたい

南さん 昔やその人の生活様式、食べ物の嗜好の好みなどを、ある程度把握している二世たちのケアがあれば、一世の方がたは安心して生活を進められるのではないかと。そこで、グループ施設を始めたのをきっかけにNPO法人として設立しました。

12年たつて、利用する方がたも一世から二世へと変わってきています。ニーズも変わるし、これまでどおりではうまくいかない。変えねばいけないものもありますが、守るべきものもある。

ニーズの変化というのは、具体的にどのようなことですか。

南さん 一世の多くは読み書きがほとんどなく、日本語の読み書きができません。介護保険もあまり理解できていないので、すべてを私たちに委ねます。「私のプランはあなたの言うとおりにして」「ぜひ、あなたの言うとおりにするから」と、ある意味ではやりやすさ

がありました。

一世の多くは「趣味なんてよくわからない」、「生き甲斐がなかなかわからない」という人たちです。ですから、言葉が通じて、自分が朝鮮人であることを隠さず言える場所を用意する。これまでの人生でできなかったことをして、楽しみを取り戻してもらいたい。そういうサービスを提供する仕事でした。

一世の背中を見て
育った二世たち

南さん 昔やその人の生活様式、食べ物の嗜好の好みなどを、ある程度把握している二世たちのケアがあれば、一世の方がたは安心して生活を進められるのではないかと。そこで、グループ施設を始めたのをきっかけにNPO法人として設立しました。



日本各地から来学する学生たち

る人たちです。一世の背中を見て、自分の子どもには日本人に負けない学習をさせたいなどと考え、子どもを就学に育ててきた親たちの世代です。自分の意志がはっきりありますから、言われたとおりのことをするのは簡単。

そうしたニーズに応えるのは、センターの稼働率を維持する点からも重要で、事業費を守るためにも、いかに二世の利用者を確保するかは、いまの課題だと思います。

利用者の世代が変わっても、エルファとして存在を続けたいですか。

南さん 代償を求めずに苦勞された一世に、すこしでも喜びや楽しみを与えたいという二世たちの思いは、世代が変わっても引き継ぐべきことだと思います。

コリアンのための組織から、
次のステップに踏み出す

南さん 利用者には、日本人もいます。たとえば、自己支援がはっきりしている日本人のおばあちゃん。「あの人ははっきり物事を言います（わね）」ということでは、日本のデイサービスで居場所がなくなった人がここに。ここだと、言いたいことを言えるという感じがする。私は日本人の利用者が入ってきたこと、とても喜んでます。

コリアンを受け入れるだけでなく、自分をさげすまない事情のある人など、いろいろな境遇の人たちが利用できて、自分らしくあるがままの姿でい

に住んでいる仲間がれば、とうぜんよく顔を合わすでしょう。日本人の友だちもそれぞれにいますから、女性がずっと家にいるようなことはないですね。子どもが学校に通ってれば、日本語教室もありますので、外とのつながりはあるわけです。

この会にインド料理のレストランに勤めている人の参加はないのですが、ピマールもまったくありません。彼らはとても忙しくて、時間がとれませんから。

郷に入っては郷に従う

日本の印象は、こちらに来てから変わりましたか。
 フィマール●インドの大学に通っていたころは、日本は科学・技術がとても先進した国という印象でした。それにスシと自然災害、強いモチベーションをもって自然災害に立ち向かうという印象。これは、日本に来て変わりました。日本文化は思っているより、最近のことや、私たちの持っている、最近のことや、ある国に来たら、その国のルールに従う、私にそれがいちばん大切だと思っています。

日本人は道義を重んじます。それで誰かを助けたことはありますか。
 フィマール●そうですね、ちょっとしたことあるけど……。でも、ルールや伝統を守ることはそんなに難しいわけではあります。

ただ、インドでは、だれかがもし間違ったことをしている。これはおかしいと思えば、はっきりと「それは違う」と言います。けれど、日本ではそうではないですね。

だれも完璧な人はいないから、間違えたと認めなければ、間違えたことを続けしてしまう人間。だから、言われたほうがいいのです。でも、日本では、そういうことがあまり口をいえない空気がある。そういう文化なのだと思うのですが……。いつも maybe をつけて、はっきり 100% とは言わない。あいまいですね。

コミュニティでは、あまり日本の問題は話しません。インドの政治などにつ



2008年の「ライト・フ・スディ・タム」

いて話し合うことのほうが多いです。

離れても続く日本との関係

フィマールさんは今後、日本とどんな関係をもたないと考えていますか。

フィマール●個人的には、インドに帰って職に就きたいですね。もちろん、帰っても日本の教授や大学の仲間たちとは連絡を取るとしています。

最近のインドと日本関係はいい方向に進んでいて、いろいろなプロジェクトがあります。そうしたプロジェクトに応募するかもしれません。もし、私がインドの大学に職を得たなら、留学経験のやりとりもできますね。日本との関わりは続けたいですね。

このグループと日本の地域社会との関わりはありますか。

フィマール●個別に参加した先輩もいます。そういう個人的な関わりはあるとは思いますが、グループとしてはありません。

あるような、ないような、それでもしっかりと結びつく

いろいろな外国人グループからお話を聞かせてもらいましたが、インドの方のコミュニティのありかたは、タイプがちょっと違うように思えます。

フィマール●そうですね。11月がちょっと違うのかもしれない。

この会にある種のプラットフォーム、期り台です。オフィシャルな集まりでもなく、登録制があるわけでもありません。はっきり存在しているように見えません。けれども、どこかで、なんと

なくつながっている。インターネットの存在は大きいですがインドに帰ってもアカウントが取り消されるわけではないので、日本のことをちゃんと見ています。

フィマールさんは、いまは家族といっしょに暮らされているのですか。

フィマール●妻と娘といっしょです。娘はまだ生れて2か月です。大津の日米病院で産まれました。辛い、辛い。友人は英語を話せました。

妊娠中は、私の母が2か月間こちらにいました。妻と娘は、2か月後には帰国します。私も2013年3月には帰るつもりです。日本で出会った友人、知人、とくに研究室の友人たちには、心から感謝しています。

2012年2月11日(土)
 Kikkori 在日インド文化研究会にて



フィマールさんの出生地、ラジャスタン州のキコリ

いします。とえばやってくれる。それはとてもありがたいだけれど、自ら積極的に動いて、責任者になるような人がもっと出てほしい。たとえば、広報をする人、それに、申請書や報告書を書く人とか。

活動のスペース確保が大きな問題

運営資金は交流会のために参加者が負担して、調剤代や場所代に当てているのです。

フィマール●ちゃんとした拠点があればいい。でも、とてもお金がゆかいます。交流会の参加費が500円ほどで、あとはコア・メンバーが少しずつ負担で、とてもできるわけがない。

こういう団体が、無料やごく少額で借りられる場所があればいいと思います。特になった小学校には、空いている教室があるらしいですね。そういうところでもよいのですが。

日本で15年間生活したフィマールさんが、こればかりでほしいということはありませんか。

フィマール●とにかく、肌の色が違う人を見たら逃げるとではなくて、接しようという努力はしてほしい。それに、白人だから英語をしゃべらないといけないという先入観はやめてほしい。

外国人なら英語はペラペラ？

フィマール●いま、兵庫県の子ども多文化共生サロゲートとして、小学校に通っているフィンランド人の子どもたちの学習支援をしています。

ちょうど来月、学校に10人のフィンランド人の男子がいます。フィンランド人は金銭的なで、日本人にとってはいかに外国人という子です。日本人の子どもたちは、その男の子に「ハロー、ハロー」と言っても英語でしゃべろうとするの、けれど、フィンランド人の5歳の子どもに英語ができるわけはないでしょう。【笑】

私も説明したのは、「この子は英語がまだできないけれど、フィンランド語はできる。これから日本語をがんばって勉強するので、友だちになってください」と。日本の子どもたちが英語という

えは英語しか存在しないと思っているのはなぜかと思う。日本人には、そういう先入観がありますね。

フィマール●自身も、日本では外資系で働いて、買ったことはあったのでしょね。

フィマール●悪いことばかりじゃないよ。場合によっては有利にもなるし。それを利用してできた仕事もありますから、いろいろです。

外国人のキャリアを日本は生かして切れていない

フィマール●私は、日本に来て語学学校の講師をしていました。でも、なぜ日本でも語学関係の仕事しかできないのか、すごく腹が立った。教師の仕事を経験するために大学で英語の教育法をきちんと勉強するか、教師免許を取るかという選択に迫られたことがありました。私は英会話を教えることを仕事にしたい。そんな一生にしたいかと思っただけで諦めました。

友だちもみんな語学教師ばかりで、そのことにとても疑問があった。そこで、なぜこんな状況なのかを知りたくて、仕事を辞めました。いま私は、大学で労働社会学を勉強しています。博士論文のテーマは「高学歴外国人の日本におけるキャリア形成」です。そういう問題を扱っています。

この研究をしているうちに、日本人もたいへんだということもわかりました。(笑) とくに日本人の女性には、外国人と似た立場ですね。

いつまでたっても外国人はお客さま

フィマール●私が論文のためにインタビューしている対象に、母国で弁護士やビジネス・コンサルタントをしていた人がいます。それでも、日本に来てと大学で語学関係の講師に就くことができればいいです。つまり、人の才能やこれまでのキャリアが、日本ではまったく無駄になるのです。

外国人のそれぞれのキャリアを活かしきれていないというのは、日本という国にとっても大きな損失ですね。フィマール●言葉の問題はたしかにありま

す。でも、母国レベルのように完璧でないと、日本語ができると思っているという先入観はないでしょうか。

日本人は、外国人をその社会の（？）とみなさない。いつかは国に帰るのではないかという、お客さん意識がある。お客さんであるうちは、生け花や茶道を紹介したり……。そんな紹介だけでは、あまり意味がない。ふだんいっしょに生活する人間として見られたいことに、ちょっと困っています。まだ外国人の数が少ないという理由もあるのかもしれないですね。

もちろん、いいところも日本にはあります。治安がとてもいいし、みんな基本的には親切だと思います。日本の文化は思いやりの文化でもあるのだから、悪いことばかりではないよ。

フィマール●フィンランドの大学で2年間、日本語を勉強され、留学生として日本に来られたのですか。ヘルシンキには何歳までおられたのですか。

フィマール●20歳くらいかな。そのあとは戻ったりもしたけれど、1年を通じて日本にいたことはなかった。世界各地を旅行して、旅先で作品展で仕事をしていた。お金の貯蓄もまた移した。

大学を出てから東京で日本の企業に就職しました。そこで2年間働き、日本人の夫と知り合って結婚して、関西に移ったんです。結婚したら定着したんだろうな。そうでなければ、たぶん日本にいつか帰ったと思う。(笑)

フィンランドと日本の言語事情

フィマール●私は、日本でフィンランド語と英語を教わられていたのです。

フィマール●フィンランドは、大学の教科書がフィンランド語ではない。人口が少なく売れないので、出版されない。だから、英語で読まなければならない。国としてやっていくには、日本を外国にしないといけないわけですね。

日本はいくつかの会社がたくさんの工場や研究所を海外にもっています。ただ、海外に行くのは一部の人間だけ。ふつうの日本人は行く必要はないでしょう。人口が多いから、外国語を勉強する必要はないわけですね。

この国の方のお付き合いはどうですか。

ニーナ●それがあまりないのです。おばあちゃんたちが宿舎をしているのと同じことがあるのですが、すぐく不安を感じるみたい。外国語が聞えること自体が不安を感じるようです。

別のおばあちゃんは、1年たつてやっとあいつつしてくれるようになった。でも、英語でしゃべらないといけないと心配している。これは年齢の問題もあるよね。多くの人たちはみんなちゃんとあいつつしてくれるので、そんなに問題はないけれど。

でも、マクドナルドに行って私が日本語で注文しても、店員は英語に切り替える人がいるんです。あれはなんだろう。私が日本語を話せて理解できることを、なぜわかってくれないのだろう。自分が外国語をマスターすれば、教室はわかるはずなのですが。

日本人も外国人も同じ人間です

最後に締めめのメッセージをお願いします。ニーナ●日本に来る外国人は、どこからでも来ると聞くと、外国人は日本人と同じようにふつうに暮らしているし、ふつうに仕事をして、子育てをしている。だから、外国人であるから違うというのではなくて、たしかに違いもあるのだけれど、結局は人間はみんないっしょなんだ。そんなメッセージが伝わればいいなと思います。

2011.4.17, 19F (木)
西村YWCA (高野田・三島・日本橋・上野・浅草)にて

※高野田の活動についてはこのホームページ
<http://blog.goo.ne.jp/yasunori>
をご覧ください。



外国語で気軽に あいさつしてみよう！

マガンダン ウマガ
(タガログ語)



アンニョンハセヨ
(韓国・朝鮮語)



シンチャオ
(ベトナム語)

ニーハオ
(中国語)

ハロー
(英語)

ボンジュール
(フランス語)

サワディークラブ(英仏)
サワディーカ(女性)
(タイ語)



ナマステ
(ヒンディー語)



スラマット スイアン
(インドネシア語)

「ライト・フェスティバル」というのは
ヒンドゥー教のお祭りですか。

フィメール●そうです。私たちのメンバー
のほとんどはヒンドゥー教徒です。ムス
リムも1人いますが、僕もいっしょに
楽しみました。時間は10月か11月で
す。ヒンドゥー教にもとづいているの
で、年によって動きます。

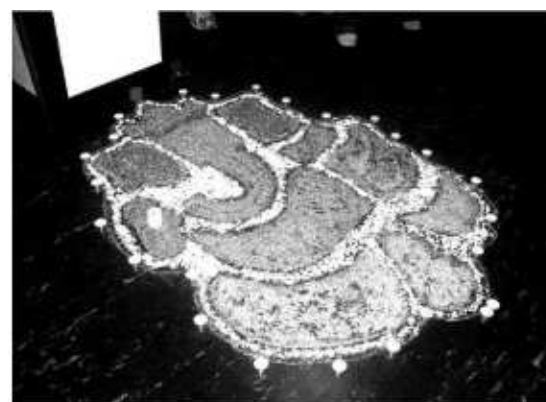
インドでも大きなイベントですが、
フィメール●そう。みんなで時間を過ご
し、ごはんを食べます。インドでは家を
ライトで飾りつけて、野外のオープンス
ペースで、めいめいが花火を打ち上げ
ます。京都では花火はできませんが、イ
ンドの料理や歌、いろいろなイベントを
考えて楽しみます。

このときは、何人くらい集まったので
すか。

フィメール●30人くらいでしたね。
2008年には、修学院の京都大学国際
交流会館でお祝いをしました。部屋を
たくさんライトで飾りました。留学生
の子どもたちも参加しました。日本人
の友だちを連れてきた人もいましたよ。

パーティの会場探しは一苦労

フィメール●日本に戻ってきたばかりの
2011年は、ライト・フェスティバルがで



ソウの話をしヒンドゥー教の祭り「ディワラ」で、赤、青、黄、白の光でインドの地図を表現。光の壁でインドの地図を表現。

きなかった。集まったのですが、お祝
いはしなかった。忙しかったのも理由
ですが、使える公共の場所がなかった
からです。料理をするスペースが必要
なのですが、そういう場所が見つから
なかった。あまりよく探さなかったか
らだと思うのですが、やっぱり場所探
しはたいへんです。

日本の情報をメンバーに伝える

お子さんと家族づれで日本に来てい
る方も多いですね。
フィメール●でも、日本に来るまえは、だ
れも日本の子育て事情はわかりません。
2011年は、ライト・フェスティバルがで

きを学校に通っている人から「結婚
や予防接種などの情報を得ます。それ
に、ほとんどの留学生には入学から就
業までのチューターがついています。そ
ういう人もぜひに教えてくれるので
助かります。そういう情報も、ネットで
共有するようにしています。

女性同士、お母さん同士で集まったり
するのですか。それとも、お子さん連
れの女性もみなさん留学生ですか。

フィメール●この写真の女性たちはみな
な留学生でした。女同士が何人かに
会うことはあると思います。インドを
離れて暮らしていれば、たいへんなこ
とはいろいろあります。だから、近く



2007年のライト・フェスティバル。

京都インド人協会 Kyoto Indian Association

留学生、研究者を中心とする京都在住インド人のコミュニティ。情報交換やインドの祭りをいっしょに祝う。

メンバー……学生15人(但し、ソーシャルネットワーク・キングダム・Orkut内には約200人のメンバーが登録)
構成……男性12人/女性3人、20代50%/30代40%/50代10%

インタビュー ヴィマル・クマール(Vinay Kumar Kulkarni)さん
インド・ジャッハル・カンダラ出身、07年度

Kyoto Indian Associationは、留学生や大学研究者を中心とした在京インド人のコミュニティ。会員名簿があるわけではなく、会期があるわけでもない。なんとなくつながるインド人ともいえる不思議なグループ。京都大学に在籍する研究者であるヴィマルさんに、英語に日本語を交えながらインタビューに答えていただきました。



ヴィマル・クマールさん

この会はいつできたのですか。

ヴィマル●私は2006年に来日しましたが、この会はそのまえからありました。2010年まで11年いて、一度インドに帰国し、2011年に再来日しました。

日本に戻って、会の活動を再開したのですか。

ヴィマル●はい、グループは存続していたのですが、あまり人が集まらなくなっていたんですね。そこで、私がたくさんの方に声をかけて、組織として再びまとまりました。

コミュニケーションの型

ヴィマル●グループが運営するorkutというソーシャル・ネットワーク・サイトのなかにグループがあり、そこに200人くらいのメンバーがいます。インドから新たに来る人が、京都にどんなコミュニティがあるか、orkutやfacebookで検索しますね。そうして私たちを見つけて連絡してきます。

メンバーには留学生のほか、ソフトウェア会社の社員などもいます。それに、インドに帰国した人もメンバーです。orkutでの活動を始めたのは2007年からです。

ネットでは、どんなことが話題になるのですか。

日本での生活にはいろいろな情報があつきます。多くのインド人はベジタリアンですから、よくに問題になるのは

食料、レストランと食料品の情報ですね。インドの食材は、京都ではなかなか手に入りません。豆やスパイス、それにコメもタイプが違いますからね。

そうすると、これから家族を連れて日本に来るのに、なにを持ってくるべきかわからない。そこで多くの人が最初に思いつくのが、

それに、どんなイベントがあるかです。お祭りやお祝いの場所や日時をたずねてきます。

コアメンバーは留学生と研究者

ヴィマル●インド人のコミュニティがもう一つあります。インド人と日本人の科学者による大きなコミュニティです。Indian Scientists Association in Japanで、学術大会やセミナーの情報を交換する研究陣の組織です。ウェブ・サイトもあり、学術関連のイベントが毎月開催されています。東京が中心のコミュニティですが、京都にも小さいながらグループがあります。

そのグループは科学者だけではなく、私たちのグループには、会社員や公務員もいます。でも、いちばん多いのは大学関係、研究員や博士課程の学生です。会社員や公務員として日本に来る人の滞在期間はだいたい半年か1年で、プロジェクトが終われば帰ります。それに比べると学生や研究者は長く、博士課程なら3年以上、研究員で2年くらいはいます。

大学を終了して就職しても、コミュニティのメンバーであり続けます。私たちの京都のAssociationには、日本人もたくさん参加しています。

年に一度のお祭り 「ライト・フェスティバル」を祝う

ヴィマル●2007年のライト・フェスティバルの写真を見てください。これはきれいに彩色したインドの旗の模様です(2ページ)。京都でこの旗の模様の学生のお家でお祝したときにつくりました。大きなホールがある民間の施設なので、一日借りられるようにお願いしました。キッチンもありますから、自分たちでインド料理を作って楽しめました。

インドネシア人女性コミュニティ An-nisa shalihah

2005年にスタートしたインドネシア人女性の会。30代を中心とするメンバーによる親睦と情報交換の場。

メンバー……在京インドネシア人女性 約50人
構成……学生20人/社会人30人、約80%が30代、20代と40代が20%

インタビュー 五から
ロクマ(Rokhma)さん
ジャバ、バンドン出身、2007年来日
ユニ(Yuni)さん
ジャバ、バンドン出身、2006年来日
ワヒダ(Wahidah)さん
本拠ジャバ、ジャカルタ出身、2010年来日
ウィンディ(Windy)さん
バリ島に近いジャリ島の東部のパニャンギ出身、2009年来日
ユニ(Yuni)さん

東南アジア、赤道をまたぐように散らばる島々からなるインドネシアの人口は約2億4,000万。世界第4位の規模を誇ります。166の宗教も多様な人たちが暮らすこの国から来て、京都に暮らす人はおよそ270人。今回、お話を伺ったのはインドネシア人女性の4人。留学生として慶応大学で学ぶユニさん、留学生の夫と子どもとともに日本にやってきたロクマさん、ワヒダさん、ウィンディさん。京都での生活について話を聞きました。京都に来て10年近いロクマさん、ワヒダさん、ウィンディさんの話の道筋は、京都で15年以上暮らしを続けるユニさんによってつづかれました。

この女性の会、いつ始まり、どんな人が集まり、どんな活動をやっていますか。

ロクマ●私ができたのは2005年です。参加者は現在、50人ほどです。

コーランと日本語を みんなで学ぶ

ユニ●いろいろな活動があります。みんなが月に2回集まるのでコーランの勉強・朗読会を行います。コーランの朗読会には、インターネット電話のスカイプを利用して、通訳しています。ロクマ●オンラインでは、日本語の勉強会もしています。コーランと日本語、それぞれ毎週1回です。ユニ●日本語を学んでいるのは、私です。2008年から留学し、総合大学で日本語を学んでいます。大学ではいつも日本語で話しているの、インドネシア語を話せるこの会、私のストレス解消の場の一つです。

みなさんが顔を合わせるのは、月に2回です。

ロクマ●はい。最初にコーランを読み、そのあといろいろなゲームでディスカッションと情報交換をします。テーマになるのは、たとえばイスラムに関することや日本での教育について、みなさん、子どもを日本の学校に通わせているので、どんな問題があるのか話し合います。また、悪いメディアから子どもたちをどうやって守るかも話題になります。メンバーには留学生もいるので、論文の発表もあります。

この会ではインドネシア人の友だちと会うこともできるし、新しい友だちを作ることでもできます。日本の生活や文化について話し合うことも、イスラムの勉強もできます。

多民族、多宗教の インドネシア人が一堂に会する場

今日はおいしい料理をいただきましたが、いつもこうなのですか。
ウィンディ●コーランの朗読会とは、インドネシア料理をみんながもって集まります。今日もロンボク料理、ジャワ



五からロクマさん、ユニさん、ワヒダさん、ウィンディさん

料理など、インドネシアのいろいろな地方の料理がありました。その日、忙しくない人が作ります。ピザや私はあまり料理が上手ではありませんが、レシピの交換もします。

守教に拘っては、インドネシアで勉強できなかったこともこの会でいろいろ学ぶことができます。そうした勉強の成果を毎回、朗読に発表しています。テーマを決めるのは発表者本人です。この会に入って、自分一人ではないという気持ちになったことが多かったですね。

ウィンディ●私は、みなさんと同じように、友だちに会えるのがうれしいですね。インドネシアは広いので、越前や山形から東部のニューギニア島メラウケまでいろいろな民族がいます。アメリカの西海岸から東海岸までと、ほぼ同じ距離です。ユニ●ここにいる私たちも、じつはそれぞれ民族が違いますが、ウィンディ●日本にいるあいだに、こんなにいろいろな人たちと知り合えます。インドネシアに帰れば、こんなチャンスはありません。

普段の生活でも 喜び悲しみを分かち合う

ウィンディ●今日のように集会所を借りるのは大きなイベントの時だけです。みんなはメンバーの家で集まります。仕事の都合や日によって参加できない人もいますから、毎回だいたい25人くらいが集まります。ユニ●でも、私の家に50人集まったことがありました。私の庭で、たいへんだったけど楽しかった。みんながたくさん集まって集まり、コー

ウソを言ったり、誕生日の歌を取ったりして楽しめました。

ユニ② 赤ちゃんが生まれた時に母から、お祝いのお祈りをしなさい、と思った人が居た時も、みんながお祈りをしてくれました。そういう時には、なにも心遣い。

シェンティ② 産院では、みんなに代わり話すことができます。

ユニ② 私はインドネシアにいる旦那のことを物陰しくなった時は、みなさんのお祈りをずっとしつたり、泣いたりしています。

メンバーが顔合わせする
さまざまな機会を川島

女性の会ということですが、今日は男性もたくさんおられましたね。

▲●アジはインドネシア国学生会の会の集まりがいつもでした。私たちのコーランの聴衆会を、それに合わせたのです。

エニオさんや子どもたちといっしょに参加する家族の会もありです。メンバーは順なりですが、グループごとにメールやフェイスブックなどの連絡のツールをもっています。

メンバーは京都、滋賀から集まります。積極的に参加される人とは、みな顔見知りです。

フィンディ●シリスト教団の団長もあ
り、インドネシアで信仰されているの
はイスラムだけではありません。

7-2 ●今日の留学生の会には、イスラム教徒もキリスト教徒もヒンドウー教徒も居ります。宗教は別隔ありません。留学生は新しい10年か15年の歳月で



陳忠的平素所信じてきた道徳的価値で、あきらめて置かば

す。長くて2、3年、メンバーは決わりませんが、私はずっと続いています。

エニさんのように、日本人と結婚している人はずいといふですね。(笑)
T: そうですね。今日はいじさんが、日本人のオナチーさんに会います。

子育てのために日本語と格闘

エニさんは元留学生ですが、他の方は、留学生の配偶者として日本に来られました。普段はどのような生活を送られていますか。

にクマ▼子どもが帰入るので、なかなか市というまで。母木にきてからも、2人生まれました。日本酒や勉強したいけれど、子どもを連れて行ける学校がない。だからいま、オンラインで勉強しています。オンラインでは、日本各地のインドネシア人女性のコミュニティと日本の教育者、ホストなどいろいろな関係を築いていて、ホストを家族として迎えています。

子どもたちが通う日本の学校のことは、やはり大きな話題になります。あ

子どもが母を学校で抱擁している日本語は、最初は堅かった。でも、書かれました。個人史談のときには特別に英語の題名がつくサービスがあります。学校からの手紙には、いまはながたてよりながたてしています。

[illegible]

月には国は出川で、アメリカ人と国際結婚した家族を中心とした広まりが、あつて、就労で遊んで、います。

インドネシアの生活様式を
日本で学ぶ不便

日本の生活で困ること、楽しいことを
教えてください。

ウィンディ●日本にはイスラムの禁忌・モスクがありません。それかわりに、フザーンという1軒5層、お祈りの前に



2014年12月25日

ご家族の方として読んでほしいんです。フランスの才能の学校ではないで、どもりの才能でも生きている、そのような人間を育てていかなければならぬ。カドナルもその期間にフランス学院の物語で、東京にある直営校の子だった。市街の東部支社の幹部だった。フランスの国境の町に2つの所管の編組の施設があったりします。で、それから、どうしても一時に日本に帰る人たちの子どもの教育を習得する人たちの教育にたいしては、

日仏を行き来する
子どもを育てる

カルドナル・ルネ・ド・ラ・ヴィグニエは、自国の
西の海となる人財を育てるといふメス
キスをあててとってやみです。』

「蘭国フランス学院はフランス人を囲
いこんで、フランス人そのまゝに育てて
いる、という口で見るのが普通です。しか
し、彼らも様々ではないということさ
を、日本側にもフランス側にも呼びか
けたんです。私たちが『蘭国相模は

ないやうにすから。(註)

廊下に留字がたくさん張ってありました。フランス人らしい名前も、日本人らしい名前もありましたね。

本書が日本人らしい名称は、
 心の隅の隅にもありません。(笑)
 カルロス・ブラスもフランス語
 に堪能で、せつめいとして日本に音楽
 学をもたらしたので、親類である口
 本の方針に、とささせてもらい
 ました。これは純粋なトップ
 の方かスビーでいいと思っていること
 なのですが、フランス語の
 翻案をするのではなく、ブラス
 式の「戦行だ」ということ
 です。スタイルがフランス式
 であっても、戦行の音楽が地
 道にはあがりません。

たとえ、ベトナムにある
学でなく、ベトナムの文化が
西洋にもあてはまる。いっしょ
に教えるんじゃない。日本
にあるや使なら、日本の文化
と常識を教えるようではない
か。そのようなスタイルです。
「15分以内授業を週に10時間
ください」と交渉して認めら

品たつとも、「11月以前に授業主題に当該開
半させてください」と交渉して認めら
れたと回答。

フランス式教育とは一言で言えばなん
でしょうか。

カルドナル・ザイナールに違いがある、と
なっています。たとえば、前例の出



方や先生の勘定などです。なにか、「こんな負数がある」ということではないのです。

知識を伝えるだけではなく、自分で考えることに比重をおいているのでしょうか。

水島●そうですね。授業では説明はありますが、自分の考えを言う場です。個性を伸ばすことが大切です。

家族との時間を大切に

本島・フランスの教育が子どもになり
のではないかと思いますが、上の子
が高校生とき、私たちは週末の休
日にピクニックとバーベキューをクラス
ごとに実施おこなっていました。

私たちは家族関係を大事にします。子どもの教育は学校で完結していません。家庭生活は学校での時間にかぎる。それ以外は、徹頭して家族と過ごすのがふつうのスケジュールです。

日本はウラン活動が活みの日も減れてしまふことが多いようです。ただ、日本と同じく、核とやむに及ぶ教育の目標がだんだん変わってきたような気がします。それぞれの原子の中身もあらうので、お茶方針を一緒に通関するめはむづかしいかもしれませんが、

2012年2月8日(水)

所沢市立中央小学校(第10回)に於て



インドシアンズの日々に就いて、ジョーブルは35年ほど書信、交信が往かされて居る。

カルベキル●直接の授業にはフランス政府の認可が必要です。去年認可がおりて、いまは認可(期間として1年間やっているところ)です。うまくゆけば、順次申請を続けたいと思っています。

通は教育という意識する人もおられますが、きちんと学習すればすべての科目を習得できます。個別指導を受けながら相当量の課題をこなして、活用を受ける。その積み重ねでバカロレア(高校卒業資格)がとれるのです。水島●直接授業を申請するには、各学年、各クラスの子どもの人数を一定数確保しないといけないんです。ですから、解やす努力をいろいろしています。まずは、フランス人学校が存在することの認知を広げる努力ですね。京都だけでなく、大阪や神戸の日本国際結婚ファミリーの方にも、「そんな学校があるんだ」と知っていただく。経済的に難しいと思われりする誤解も解かないといけないですね。

地域の運動会やバザーに参加

地域のつながりなどのような関わりをもたれていますか。
水島●たとえば、この学区の年に一度の運動会には参加しています。割引さばだいたい毎年1位だったのですが、今年は3位で少しショック。
カルベキル●同じ敷地内にある待賢幼稚園といっしょにバザーをさせていたたりもします。保護者のお母さんが出てこれますから、お互いに顔をあ



子どもたちの作品

わせて、「こんな人たちのだな」と感じてもらう。ふだんはさっさと「なにをされているのかな」と思われているような雰囲気なので……。(笑)

国際交流の勉強や経験などで、日本人が関与することはないのですか。
カルベキル●残念なことには、それがないですね。フランスに行かなくても、フランスの教育を学んだり、研修したりする手間はかかると思うのにね。

京都は外国人に冷たい

日本で暮らすなかで、難なことや困ったことはありますか。
水島●一つあるのですが、外見が通りだからしかたがないですね。じっと見られるのが少し嫌なところです。

まだ京都はいいんです。京都は観光客が多いので外国人に慣れています。広島はものすごく違います。広島ではどれだけ指をさされたことか。(笑)

私が京都のお店に入ると、店員のように「こわい」という顔はされません。ですが、レジで「いくらですか」と聞くと、レジの数字を見せられます。「どうぞ1,262円」と言ってもわからないだろう」と断ってレジの数字をさすのです。カルベキル●私たちは神戸で補習校授業をひらいているので、つい比べてしまふのですが、やっぱり神戸の人たちは、作んでいる外国人に慣れておられます。居住地の歴史を感じますね。

京都では、外国人はみんな観光客。あるいは、そうであってほしいという気持ちではないでしょうか。すぐに帰ってほしい。そんな印象を残念ながら感じますね。

進学先は日本も、フランスも

水島●日本の大学に入った子はこれまでにいますよ。私の息子はフランスの大学に進みましたが、大学院は日本に落ちからしれません。会社の研修などもあります。「ぼくも日本の会社で研修したいです」とも言っています。書くなどの日本語の能力は、フランスでも評価してもらっていますので。

日本語もできるのですか。
水島●もちろん、それにこの保護者の特徴といえますか。希望です。両方

モスクから出れる呼びかけを聞くことが出来ます。「日本人には音楽は聞かなくていいですよ」「お祈りしましょう」という呼びかけです。

それに気づいて、インドネシアには冬がないので、私たちにとって日本の冬はとても暑しい。日本の夏も暑くてたいへんです。

日本でインドネシア料理を作るのが難しいことも困ります。材料の値段が高く、取れた場所でも買えません。京都ではイスラム文化センター¹で買います。あるいは、オンラインで個人網が1万円を超える送料が材料になるところから買うなどしています。ワタ●イスラム法に則った食材のハラル²を解するのが、日本ではなかなか難しい。スーパーでお肉を買う時も、原材料に書かれているショートニングが植物性か動物性かで、迷います。豚肉はエスでも、脂でもいけません。ウィンディ●新しい店は、日本には肉類があまり、きれいなことです。インドネシアにないものが日本にはたくさんあります。とくに新鮮な野菜ですね。交通機関はとても便利です。乗り換えをするにも、いろいろな路線があります。だから、日本語がわからなくても、通子になります。

医療情報をメンバーで共有

日本語がわからないと、病院ではたいへんではないですか。
ロクマ●ここのお医者さんは英語を話せる。「どの病院に英語のできるお医者さんが多い」といった情報がこの会にはあります。私は日本語が少しはできるので、できる限りの日本語でコミュニケーションをとっています。ユニ●緊急の場合は、話や通訳のできる仲間の助けをかりて行きます。

二つの国で何回も入院している経験からすると、日本のほうが医療サービスはいいですね。インドネシアでは、医療保険はあっても社会保険によって受けられる医療サービスが異なります。

壁になるのは言葉だけ?

二国問題になるのは、日本人との人間関係です。壁を壊すのに時間がかかります。



日本での生活でエニさん(中央)はよく相談

ます。インドネシア人は、つきあいやすい。初めてあった人でもみんな「元気ですか」と声をかけます。

私の大学の所属には、外国人がほとんどいない。だから3年たっても、あなたに外の人という扱いを感じていません。ちょっと寂しいですね。ワタ●私もいいよ。幼稚園で日本人のお母さんたちとコミュニケーションをとりたい。インドネシアやイスラムのことを知りたいと思っています。でも、日本語の能力が足りず、自分の気持ちもなかなか伝えられません。みんな優しくしてくれるので、自分からもお返しをしたいと思います。相手ももつと知りたいて思っているから、時間をかけて伝えています。通じた時はうれしいですね。

保護者同士、日本人とも話し合いたい

ロクマ●困るのは、私も日本語。それに日本での生活習慣です。子どもが小学校1年になりました。公立学校です。でも、子どもの友達と家に遊びに来た時に、どうしたらいいかわからない。日本とインドネシアでは家族関係が違いますから、どう対応するのがいいかわからない。また、宗教以外の食品でも、習慣は違っていて、たとえば、お昼ご飯がでいいのか、そんなことを迷う。



ほかの保護者とも、ほんとうは相談したいのですが、向こうが対応するようです。担任の先生に話して、私のところにはその先生から話が来る。直接コミュニケーションをとりたいのですが、日本人も私たちの

習慣がわからず不安なのではない。二●それは、言葉の問題もあります。が、日本の習慣です。子どもに問題があった時、日本語ができる私にも直接には言ってくれない。

ユニ●日本語があまりできない私の息子が、言いたいことが伝えなくて、精神的に本を削いで人を取ったことがあった。先生から呼び出されて、私の家のところに連れて行かれました。インドネシアでは普通です。なんで日本では怒りが溢れるに行かなくてはならないの。子どもは10歳のけんかなんて、インドネシアでは普通です。なんで日本では怒りが溢れるに行かなくてはならないの。子どもは10歳のけんかなんて、インドネシアでは普通です。なんで日本では怒りが溢れるに行かなくてはならないの。

でも、それがきっかけで息子が最後にはいっしょに仲良くなったのは、そのけんかをした子ども。おもしろい。私の息子はインドネシアにいますが、その子がいっしょに息子のことを心配しているみたいですね。心配みたいです。

2011年12月17日(土) 関西国際空港(大阪) 市民会館 市民会館にて

1) 東京都上野区新大塚1丁目2番1号 二国問題研究会
http://www.wakamatsu.net/jica/about.html
2) イスラムの法律では豚肉を食べることが禁じられている。また、豚肉以外の食品でも、習慣は違っていて、たとえば、お昼ご飯がでいいのか、そんなことを迷う。



教室の様子

女性デーはロシアではとても大事な日です。男性から女性に、花やチョコレートをかきながら贈ります。とても大切な日です。日本のバレンタイン・デーのようなものですが、ロシアにはバレンタイン・デーはありません。

大切な行事はお正月で、その次の2月8日の女性の日。仕事がある人も、仕事が終わってからみんなパーティをする。そのとき、みんな女性になが断ります。みんなに花やドレスをプレゼントするんですね。

女性の日は、ヨーロッパでもだいたいあるはず。日本にはないので、びっくりしました。だから主人に教えた。この日は、なんでもいいのです。小さなお花でも、チョコレートでもいい、できればほし。気持ちだから、なんでもいいとしています。(笑)

今年のその会のことは、さようこれから相談します。クリスマスと同じようにお祝いします。ママたちには、自分でつくったものをもってきてください。と頼みます。私は料理のものがいいですが、料理はかならず自分でつくって持ってきます。紅茶などの飲み物も。それに、ママたちの仲介りのものをすべて、10月1日、20日11で送ります。バナーみたいなスタイルです。

子どもたちが、ロシアに行くことはあるのですか。
オクサー●1年に1回は行きます。幼稚園のときにはいつもも行けたいですが、小学校に入学したら、だいたい夏休みの1か月だけです。むこうで遊びたい。おばあちゃんとおじいちゃんに会えます。とても楽しみにして待っていますね。

子どもたちのロシア体験

オクサー●私は娘にこう言っています。「ロシアでは、だれも日本語はわからない。自分の力でなんとかロシア語を話してください。ロシアで娘は、2、3日はすごく驚く。なにも言いません。おばあちゃんとおじいちゃんにびっくりしますね。」

おそらく、自分から話すことにストレスを感じているのですが、だんだん慣れて、少しずつ自分の口で話すようになります。すぐではありません。

も、私の娘には4歳の娘がいます。いっしょに遊びたいので、だんだん慣れていきます。

「1か月行って話すのがじゅうずになっても、日本の学校に戻ってまた遊べます。(笑)すぐですね。」

ここに集まるお母さんの出身は、だいたいロシアやウクライナ、エストニアなど、旧東ロシアが多いかな。私もハーフロシアです。

ロシアに帰ると、かならず教会にみんなで行って、いろいろなお願いをします。

活動場所の要件は 広くて安いこと

活動場所や資金についてなど、困っていることはありません。オクサー●あまりないかな。今日のようにロシア語を教えるなど、みんなが集まる時にはお金を用いています。ここ、東山いさぎ市民センターは借りやすいです。みんな、仲んでいるところだからでしょう。三条京阪駅が近いので、ここに決めました。

まえば、ワシントン市でもよかった。ここはクリスマス会をする場所として、はじめて探しました。とくに安いし、大きな場所なので。

ハローワークでアルバイト探し

会に参加されているロシア人女性のみさんは、ふだんはなにをなさっているのですか。

オクサー●私はふつうの主婦です。ほかのみんなは、お昼にアルバイトをしています。お洗濯いや、野菜の加工や、上着での作業など、みんな自分でハローワークに行き探して、自分で面接に



行きます。

お仕事を探すがたいへんと言っているのですが、アルバイト情報などは必要とされていますか。

オクサー●ほいはいですね。やはりみんな、子どもがいるでしょう。だから、学校や幼稚園に子どもを送ってからの短時間アルバイトです。短時間でもアルバイトでお店に入ると、やはり庶字などがむづかしい。かんたんなアルバイトがあれば、みんなしたいです。したほうがいい。

仕事と子育て、両立がたいへん

お子さんを預けるおじいちゃん、おばあちゃんがいなくて大変なようです。どうされているのですか。保育所などに入れないのですか。

オクサー●さうは、私の友だちがこれからはアルバイトがあるのだけど、子どもはすごく風通をひいている。どうすればいいかな。空いていませんが、と、電話してきました。私はとくに予定はなかったので、依頼を引き受けた。できればそうしますね。

できないときでも、仕事には行かなければなりません。もしも私にだめで、幼稚園にも預けられないとすると……、ですから、そのような場所がほしいですね。

児童保育という制度があって、風通などをひいた病院の子どもを預かってくれますよ。

オクサー●それは知りませんでした。そういう情報を教えてもらえると、便利ですね。

2012年1月29日(土)
東山いさぎ市民センター(東山いさぎ市民センター)
小島町1-1-1 東山いさぎ市民センター



kokoro市東の「サイゴン食堂」でランチ、おしゃべり

留学生の関心は奨学金と就職

チャウ●いつもみんなの話題になるのは奨学金のことですね。それに、最近話題になったのは地震、東日本大震災では、けつこうみんなパニックになりました。ベトナムでは地震はありません。

留学生はベトナムの大学の学費を卒業し、大学院から日本に来る人が多いです。そして博士課程を終えてベトナムに帰る。京都に来ている留学生は奨学金をもらって来た人が多く、そういう人はなかなか就職しないといわれています。でも、私は日本の化粧品企業に就職が決まりました。数年、日本で働いて、それから帰るつもりです。タン●はい、私も、修士課程に在籍しています。進学して日本で修士号を取って、帰国はベトナムの大学で教えることになると思います。

学校以外で日本の社会と関わりはありますか。

チャウ●ええ、飲食店での接客などのアルバイトをしています。接客はたいへんというより、おもしろかったです。いまは日本語・ベトナム語の翻訳や翻訳、ベトナム語講師とか、京都府の名産品販売大使も務めています。

近所の人の付き合いは大家さんぐらいです。お祭りなどがあつたら行きますが、町内会にはまだ外国人にまだはかをつけてくれないと思います。

タン●私の場合は学校だけです。下宿先には、ほかの国からの留学生もいます。いま作っているのは留学生のための会なので、交流はけっこうあります。研究室にも友だちはいませんが、英語によるコミュニケーションしかしてないので、日本人の生活はわからないことが多いです。

日本の寒さと 冷たい食べ物に困る

日本で困ったことはありますか。

チャウ●困ったことを思い出すのに時間がかかります。(笑)ベトナムと違い、雪があまりないですね。そして人がちゃんと交通ルールを守っている。それと、除雪のための施設や設備が道路にもきちんとあります。困るのは、冬の寒さぐらいでしょうか。

タン●年中寒いベトナムの南端から来た私は、日本の寒さにちょっと……チャウさんはホーチミン出身ですが、私はメコンデルタ地方です。

チャウさんは上手なものでしょう。タン●はい、私は、修士課程に在籍しています。進学して日本で修士号を取って、帰国はベトナムの大学で教えることになると思います。

タン●ベトナム人は温かい食べ物を好みます。なんでも温めてから食べるのですが、日本にはお寿司や刺身もありますし、冷たいお弁当でもだいじょうぶなのはすこし驚きました。

それに日本人は辛いものをあまり食べない。本場のベトナム料理を作るために、トウガラシをどこで買ったらいいかわかりません。ネットでも売っているが、日本のトウガラシはよくない。(笑)

私はなんでも食べられますが、日本には辛い物が多いので、食事で1か月食べたらもう飽きるという感じなんです。

チャウさんは10年も日本におられます。この間はなんとおしゃべりしていますか。チャウ●よく質問されるのですが、「帰ってほしい」とは言われません。(笑)これ

もベトナム人と日本人の違いだと思います。ベトナムのこの家でもそうでしょうが、子どもが帰って外国に留学しているのに、「さびしいから帰ってこい」とは言われません。(笑)

ベトナム人にも日本人にも 開かれた会にしたい

これからの会のビジョンを教えてください。日本人になにか言いたいことはありますか。

チャウ●できるだけたくさんの方に、この会に参加してもらいたいです。京都府以外に住んでいたりして、会のことをまだ知らないベトナム人もいます。そういう人は一人きりさびしくお正月を過ごしているかもしれない。できればみんなが集まって、いっしょに楽しんだり、情報共有したりしたいです。

ベトナム人をおもな対象にしているのですが、日本人にも会のことを知ってもらって、交流を深めることができたらいいと思っています。

タン●ある程度日本語が話せる人だった日本の環境に溶け込むことはかんたんでしょうが、言語が通じない外国人もたくさんいると思います。そういう言語の壁を乗り越えるようなイベントが、もっとたくさんあればいいなと思います。

2012年1月29日(土) kokoro 市東市東山いさぎ市民センター



ロシアのクラブ

2007年にロシア人女性が、自身の子どもたちにロシア語を教えるために集まる、ロシア語教室のほか、誕生日会やクリスマス会などのイベント、日常的な生活情報の交換を行なう。

メンバー……在日ロシア人十数人
構成……20代を中心に、30代～40代。多くは女性で家族連れ

通称 西山オクサーナさん
ロシアのハヴリノノスク出身、主婦

「余り遠く近くの『東山いきいき市民活動センター』。このセンターで部屋を借りてロシア人を迎へる子どもたちへのロシア語教室を訪ねました。教習所を併設していたオクサーナさんも、日本人男性と結婚し、現在は娘一人のお母さん。授業のあと、子どもたちやロシア人のお母さんたちがにぎやかに話をする教室で、オクサーナさんに「ロシアのクラブ」の活動について聞きました。

子どもたちにロシア語を教えるために始めた会だと聞きました。どうしてそれが必要だと思ったのですか。

オクサーナさん 私の娘が2、3歳のとき、友だちが教えたようにと聞いてくれました。やっぱり、みんな自分の娘とはロシア語で話したいでしょ。

最初も3～4人くらいが家に集まりました。でも、やはり家ではいろいろ不便があって、子どもたちは集中して勉強できない。だから、「部屋を借りよう」となった。

今日はこどもの教室に7人、むこうの教室にも7人の子どもたちがありました。でも、はじめは少人数からだった。最初、教材のプリントを事前に送っているのですか。

オクサーナさん そう。家でつくります。最初はロシア語の本を自分で読んで買って、取り、本を訳読機かざりしてました。それが簡単にできたから、でも、

だんだん子どもたちも大きくなると、自分で読みたいし、書きたくなる。そこで、私がプリントを印刷するようにしました。

子どもの選択技は多いほうがいい
オクサーナさん 会の活動は2007年からで、今年で5年くらいかな。内容はもちろん必要だけど、やはりロシアの文化も少しずつ教えます。

子どもたちはいろいろ習います。わかる年齢になれば、ロシア語でも、日本語でも、英語でも、たくさん話せるほうがいいと思います。だんだん大人になって、どれがいいか、自分で選べよう。

オクサーナさんは、日本の保育園や児童館、フェスティバルなどに出席して、ロシアの踊りや食文化などの文化を教えられるそうです。



オクサーナさん

オクサーナさん 食事やゲーム、料理とかですね。子どもたちにとっていちばん簡単なことは、いっしょにゲームをすること。あとは、ダンスや歌の覚えやすいですね。大人とは、いっしょに料理をつくったりいっしょでね。みんなで作って、みんなと楽しむ。写真なども見せると、それがいいね。子どもたちの心をつかみやすく、使われる。

ばらばらに暮らす女性たちの貴重な情報交換の場

ロシア語を教えるだけでなく、終わったあとでみんなで話して情報交換するのです。

オクサーナさん 話をすると、これがいちばん大事。話をすることによってストレスも発散できるし、悩みも解消される。

この女性には困難を感じている方がほとんどですね。住んでいる場所もばらばらではないでしょうか。

オクサーナさん みんなばらばらです。でも、だいたいみんな電話をもらっていますし、メールがあります。電話して、「どうかな」「そうしよう」と考え、話しあいます。

ふだんの暮らしでは、近所の方はみんな日本人ですね。コミュニケーションに問題はありませんか。

オクサーナさん 私はあまり詳しくないです。ほかのロシア人のお母さんたちも、日本語はだいたいできますから。

子育てと医療につきまとう日本語の壁

オクサーナさん 娘が幼稚園に通っていたこ



ロシアの教室の様子

ろは、いろいろな手紙の書写の練習が盛んで、どうしたらいいかわからなかった。みんなに電話してたづねていました。そうすると、日本人の先生に全部「教えてください」とたづねる。そうして、なにをいって、いらないか毎日、周囲の人に聞いてばかり（笑）。だんだん自分でもわかってきたので、いまは日本語がわからない友だちに教えています。順当ですね。

やはり言葉の問題は出るんですね。オクサーナさん 娘が幼稚園に入ってから、いろいろな書類を出すときには難しいと思いました。小学校に行くときも……。学校の書類は毎月のようにあります。つらかなやうかななら、だいたいよくわかるんです。

あとは病院。病院の先生の話で、ときどきは言葉がわからないことがあります。わからないときには、「そのことを書いてください」「英語で書いてください」といいます。あとで、辞書で調べます。

大きく広がるコミュニティの輪

この会のいちばん大きなイベントがクリスマス。3月の「女性の日」や誕生日会などでも集まられているようです。オクサーナさん 去年のクリスマス会には多くのロシア人が集まりました。150人くらい。京都、大阪、神戸など関西中から集まりました。みんなたくさん来たのは初めてで、こんなにたくさんロシア人が住んでいるのだなと。知らない人もたくさん。子どもたちも

喜んでいました。

3人くらいで始めたのが、150人も集まるようになった。コミュニティをつくらうと思っていたわけでもなく、ごく自然にそうになりました。いまも、よくに会合は決まっています。やはりパソコン、ネットの方ですね。フェイスブックをみんなよく利用している。

どんな人が150人も集まるのですか。子どもたちも入っていますか。オクサーナさん 子どもたちやお母さん、それに18歳。夫は、だいたいみんな日本人です。留学生は少ないですね。ファミリーが多いです。

クリスマスは一大イベント

オクサーナさん クリスマス会をしたのは12月11日。この東山いきいき市民活動センターでした。この部屋ではなく、もう少し大きいホールです。

最初、子どもたちと大人がいっしょになって、クリスマスの歌をみんなに見せました。それが終わると子どもたちもみんなにプレゼントをして、食事をしました。食事はみんな自分でもってきました。何人来るかわからないので、それが便利。笑）一人一品とジュ

ースなどをもってきて、それをみんなで食べたのです。ロシア料理も、日本の料理も、いろいろです。時間があるなら自分でもつくり、ない人は買って持って来ました。

クリスマスには教会に行きたいけれど……

オクサーナさん ロシア正教では、グレゴリオ暦でなくて、ユリウス暦でクリスマスをお祝いします。だから、このごろは1月の6日から7日に教会でクリスマスの大きな会があります。

京都には新馬場二条上ルに正教会があります。ロシアで信仰されているのと同じ宗派の教会ですね。

オクサーナさん その教会にはよく行くのですが、いつもお参りしている。去年のクリスマス会にも参加しに行っていたのに、「また来よう」と。1笑）いつか聞いてみるかわからない。寂しいです。

行ったことはないですが、神戸の正教会はいつも開いているそうです。京都は寂しいです。いつもトントンとノックするのです。笑）ほんとうに聞いてほしいです。土曜日や日曜日には行きたいですね。

手作りの料理とバザーの品を持ち寄って祝う

オクサーナさん 3月8日の「女性の日」、同僚



みんなが楽しそうに話している様子

